

小規模企業景気動向調査

[2022年5月期調査]

～行動制限の緩和で売上好調も、コストの大幅増加等により、採算・資金繰りに苦む小規模企業景況～

2022年6月24日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2022年5月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…行動制限の緩和で売上好調も、コストの大幅増加等により、採算・資金繰りに苦む小規模企業景況…◇

5月期の産業全体の業況は、売上額DIが10pt超、業況DIが大幅、資金繰り・採算DIは小幅な改善となった。3年ぶりの行動制限のないGWなど経済活動の活発化を起爆剤とし、全業種で売上額DIが10pt超の改善となった。しかし、原油及び原材料高騰に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻、急激な円安等の影響が長期化の様相を呈し始め、コスト増大による採算の悪化が小規模企業を苦しめている。特に、製造業や建設業でのコスト増の影響が大きく、採算や資金繰りの悪化が見られる結果となった。

＜製造業＞ ◇…高騰し続ける原材料のコスト増の影響で、採算の悪化に苦む製造業…◇

製造業は、売上DIが10pt超改善するも、採算DIが悪化へと転じた。食料品関連は、売上の大幅回復が続いているものの、小麦や油等の価格高騰が止まらず、価格転嫁が追い付かないとのコメントがあった。また、機械・金属業関連は、売上DIが約20pt改善するも、直近1年間で最も採算が悪化した。経営指導員からは、原材料の価格高騰に加え、銅やニッケル等の原材料そのものの入手困難が続いているとの報告があった。繊維業関連も、売上は回復基調も、生地等の価格が高騰し採算悪化が進んでいる。

＜建設業＞ ◇…負のスパイラルの加速で、資金繰りに影響の表れ始めた建設業…◇

建設業は、売上・業況DIが10pt超改善するも、資金繰り・採算DIは引き続き低水準で推移している。公共事業・民間工事・災害復旧工事など需要は堅調も、ウッドショックの長期化や建築資材、半導体製品不足に加え、原油価格高騰や人手不足による生産性の低下など負のスパイラルが加速しているとのコメントが目立った。部材の不足や価格の高騰が工期の大幅な遅延を招いており、入金遅れから、資金繰りも影響がでてきているとの声も多い。

＜小売業＞ ◇…行動制限の緩和で売上好調も、消費行動の違いにより明暗を分けた小売業…◇

小売業は、売上額DIが10pt超の改善、その他のDIも改善に転じた。衣料品関連は、行動制限の緩和で人流が増加したこともあり、全指標で大きく改善が見られた。食料品関連は、GWによる売上増加に加え、6月の商品値上げ前の駆け込み需要等により、売上額DIが15pt超の大幅改善となった。一方、耐久消費財関連は、半導体不足による納期遅延が深刻化、さらに中古車価格やガソリン価格の高騰等により、消費者の買い控えの影響を大きく受け、資金繰りDIが悪化に転じるなど業種間で明暗が分かれた。

＜サービス業＞ ◇…行動制限の緩和で大幅改善も、業種や事業者間で改善幅に差が出ているサービス業…◇

サービス業は、全DIが3カ月連続で改善、5月の業況DIの改善は3カ月の中でも最大となった。旅館関連は、売上・業況DIが20pt超と、直近1年間で最大の改善幅となった。行動制限のないGWによって、国内需要が活況を取り戻し、旅館等がほぼ満室になっているなど、好転のコメントが多数あった。クリーニング関連は、衣替需要や冠婚葬祭需要等で全DIが10pt程度超の改善となったが、燃料高騰の影響で採算に苦しんでいるとの声があった。理美容業は、2月以降は概ね右肩上がり改善傾向を示すなか、コメントでは、主要顧客の年齢層等により好転と悪化の二極化がみられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 22.2	▲ 7.2	15.0	▲ 21.1	▲ 6.1	15.0	▲ 20.3	▲ 5.3	15.0
採算	▲ 51.5	▲ 49.0	2.5	▲ 56.2	▲ 59.6	▲ 3.4	▲ 59.0	▲ 56.9	2.1
資金繰り	▲ 37.7	▲ 33.6	4.1	▲ 43.6	▲ 40.2	3.4	▲ 38.9	▲ 39.3	▲ 0.4
業況	▲ 42.1	▲ 32.3	9.8	▲ 47.4	▲ 41.4	6.0	▲ 46.0	▲ 34.6	11.4

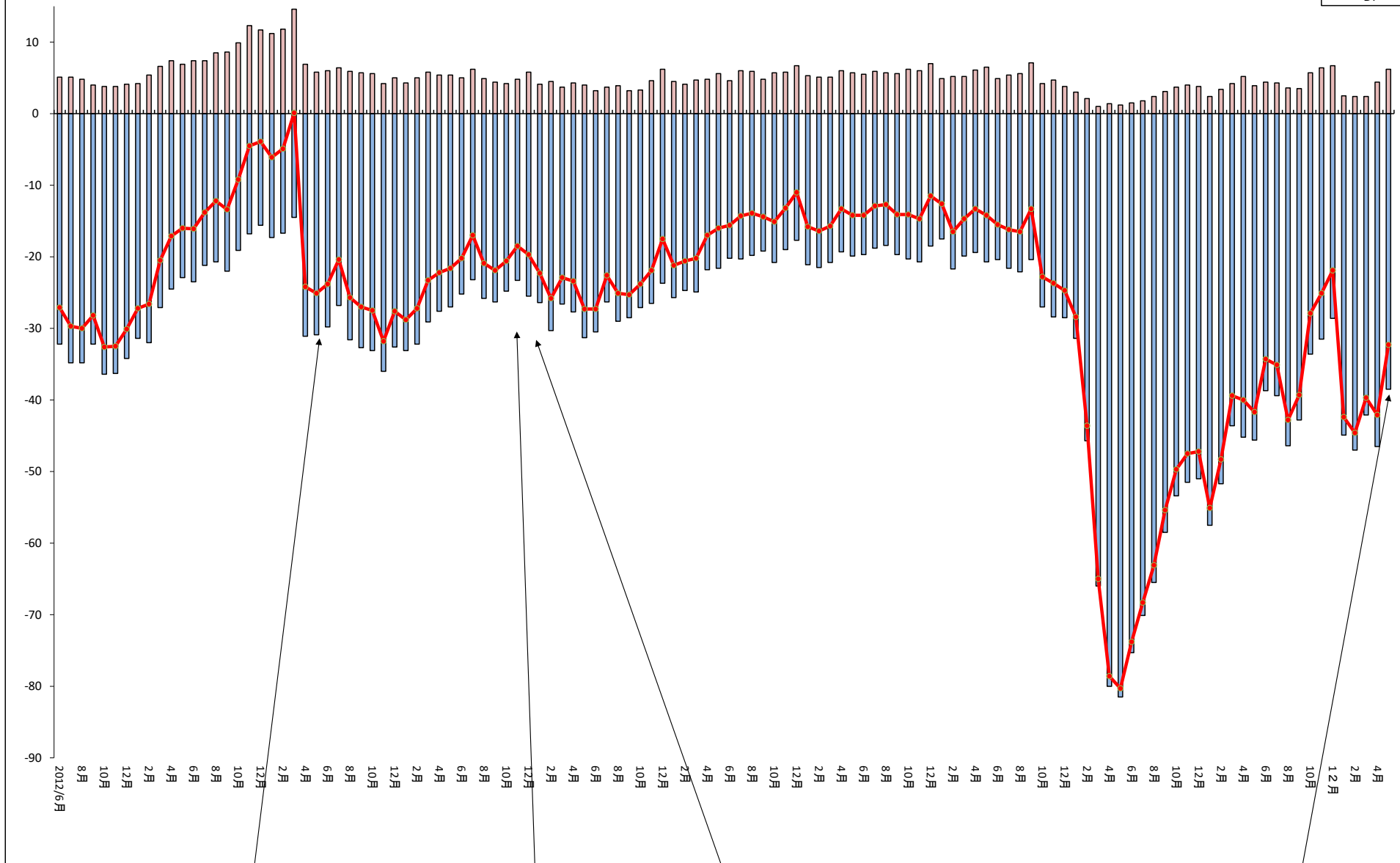
業種	小売業			サービス業		
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比
売上額	▲ 28.7	▲ 16.4	12.3	▲ 18.8	▲ 1.0	17.8
採算	▲ 52.2	▲ 50.0	2.2	▲ 38.3	▲ 29.4	8.9
資金繰り	▲ 38.3	▲ 35.1	3.2	▲ 30.3	▲ 20.1	10.2
業況	▲ 44.9	▲ 39.2	5.7	▲ 30.2	▲ 13.8	16.4

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
— DI



14年4月
消費税率8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

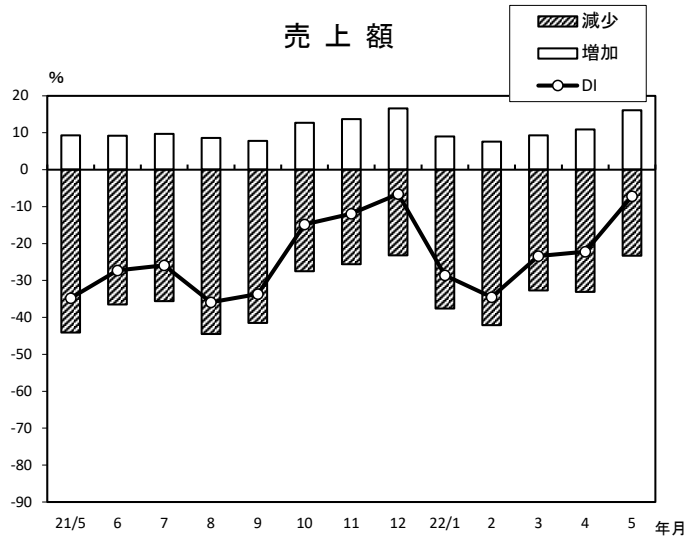
16年4月
熊本地震

22年5月
(-32.3)

小規模企業景気動向調査(2022年5月期)

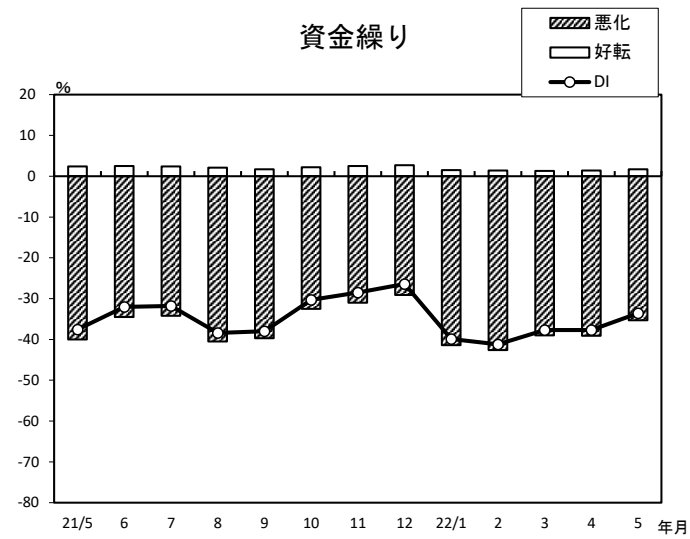
産業全体(前年同月比)

売上額



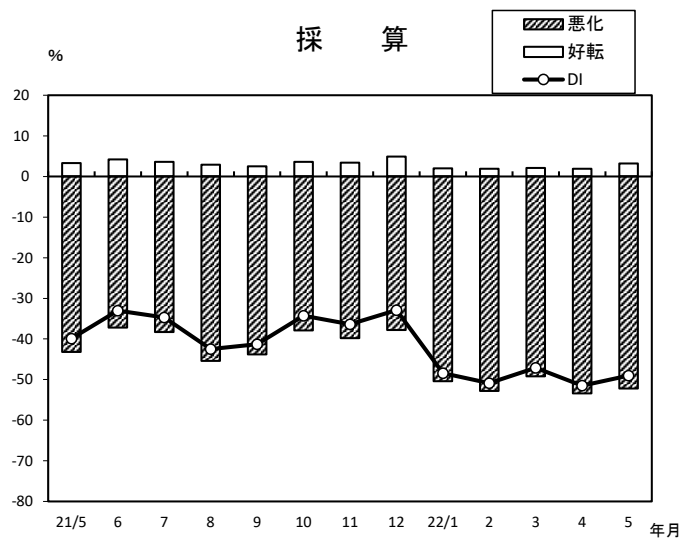
年/月	増加	減少	DI
21/5	9.3	-44.1	-34.8
6	9.2	-36.5	-27.3
7	9.7	-35.6	-25.9
8	8.6	-44.5	-35.9
9	7.8	-41.5	-33.7
10	12.7	-27.5	-14.8
11	13.7	-25.6	-11.9
12	16.6	-23.2	-6.6
22/1	9.0	-37.6	-28.6
2	7.6	-42.1	-34.5
3	9.3	-32.7	-23.4
4	10.9	-33.1	-22.2
5	16.1	-23.3	-7.2

資金繰り



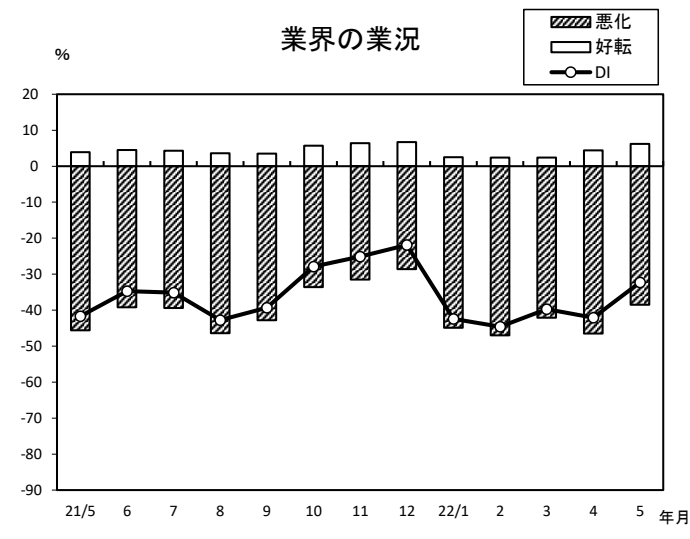
年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.4	-40.0	-37.6
6	2.5	-34.5	-32.0
7	2.4	-34.2	-31.8
8	2.1	-40.5	-38.4
9	1.7	-39.7	-38.0
10	2.2	-32.5	-30.3
11	2.5	-31.0	-28.5
12	2.7	-29.1	-26.4
22/1	1.5	-41.4	-39.9
2	1.4	-42.6	-41.2
3	1.3	-39.0	-37.7
4	1.4	-39.1	-37.7
5	1.7	-35.3	-33.6

採算



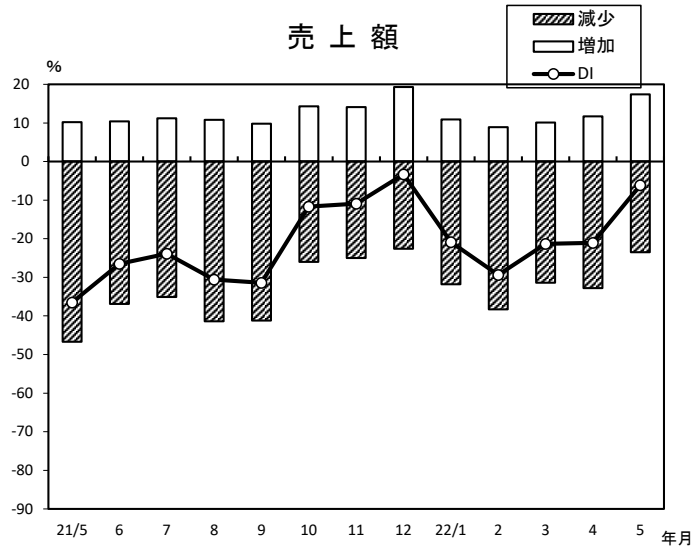
年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.3	-43.2	-39.9
6	4.2	-37.2	-33.0
7	3.6	-38.3	-34.7
8	2.9	-45.4	-42.5
9	2.5	-43.8	-41.3
10	3.6	-37.9	-34.3
11	3.4	-39.8	-36.4
12	4.9	-37.8	-32.9
22/1	2.0	-50.4	-48.4
2	1.9	-52.8	-50.9
3	2.1	-49.2	-47.1
4	1.9	-53.4	-51.5
5	3.2	-52.2	-49.0

業界の業況

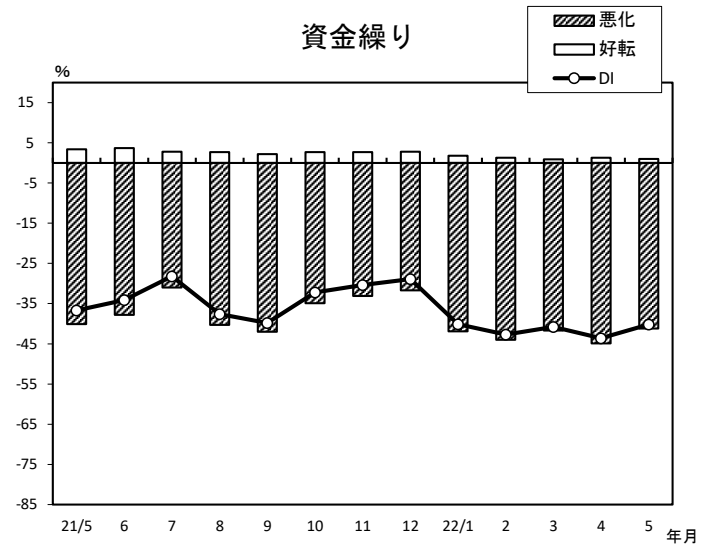


年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.9	-45.6	-41.7
6	4.5	-39.2	-34.7
7	4.3	-39.4	-35.1
8	3.6	-46.4	-42.8
9	3.5	-42.8	-39.3
10	5.7	-33.6	-27.9
11	6.4	-31.5	-25.1
12	6.7	-28.6	-21.9
22/1	2.5	-44.9	-42.4
2	2.4	-47.0	-44.6
3	2.4	-42.1	-39.7
4	4.4	-46.5	-42.1
5	6.2	-38.5	-32.3

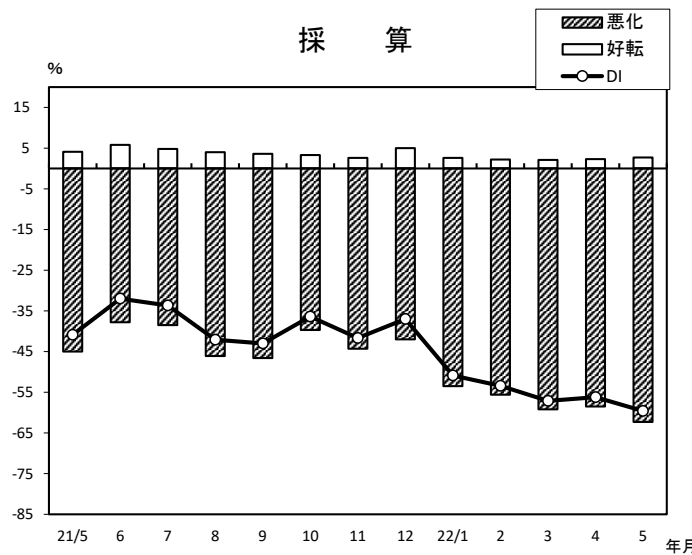
製 造 業(前年同月比)



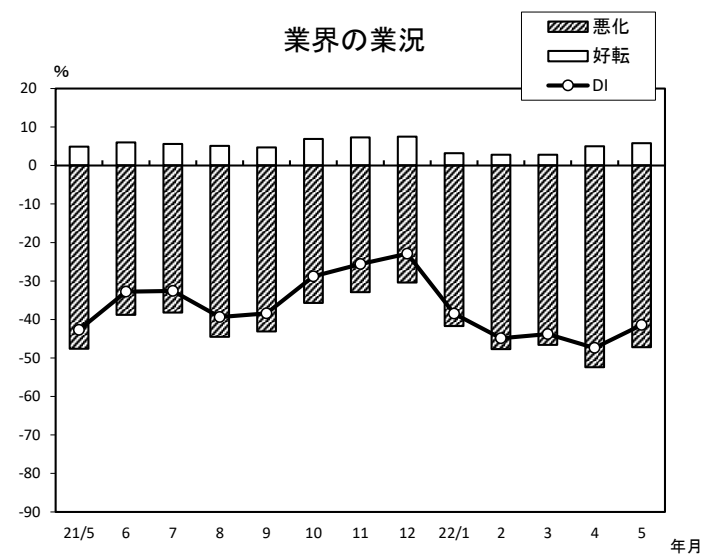
年/月	増加	減少	DI
21/5	10.2	-46.7	-36.5
6	10.4	-36.9	-26.5
7	11.2	-35.1	-23.9
8	10.8	-41.4	-30.6
9	9.8	-41.2	-31.4
10	14.3	-26.0	-11.7
11	14.1	-25.0	-10.9
12	19.3	-22.6	-3.3
22/1	10.9	-31.8	-20.9
2	8.9	-38.3	-29.4
3	10.1	-31.4	-21.3
4	11.7	-32.8	-21.1
5	17.4	-23.5	-6.1



年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.4	-40.1	-36.7
6	3.7	-37.8	-34.1
7	2.8	-31.0	-28.2
8	2.7	-40.3	-37.6
9	2.2	-42.0	-39.8
10	2.7	-34.9	-32.2
11	2.7	-33.1	-30.4
12	2.8	-31.7	-28.9
22/1	1.8	-41.9	-40.1
2	1.3	-44.0	-42.7
3	0.9	-41.7	-40.8
4	1.3	-44.9	-43.6
5	1.0	-41.2	-40.2

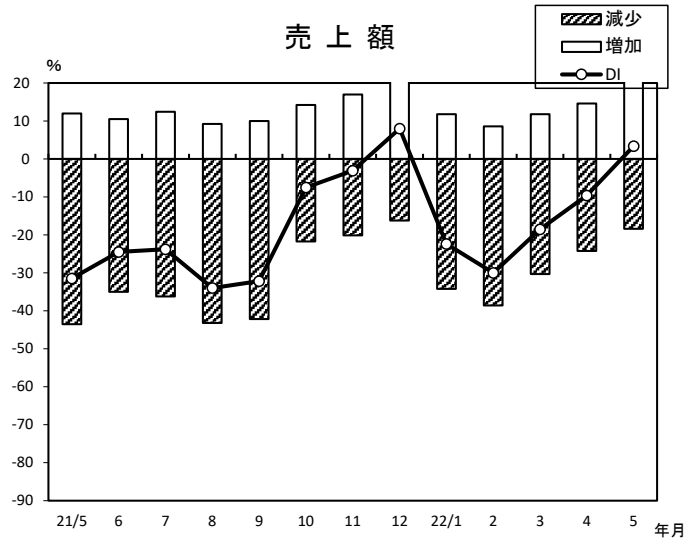


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.1	-45.0	-40.9
6	5.8	-37.8	-32.0
7	4.8	-38.5	-33.7
8	4.0	-46.1	-42.1
9	3.6	-46.6	-43.0
10	3.3	-39.7	-36.4
11	2.6	-44.3	-41.7
12	5.0	-42.0	-37.0
22/1	2.6	-53.5	-50.9
2	2.2	-55.6	-53.4
3	2.1	-59.2	-57.1
4	2.3	-58.5	-56.2
5	2.7	-62.3	-59.6

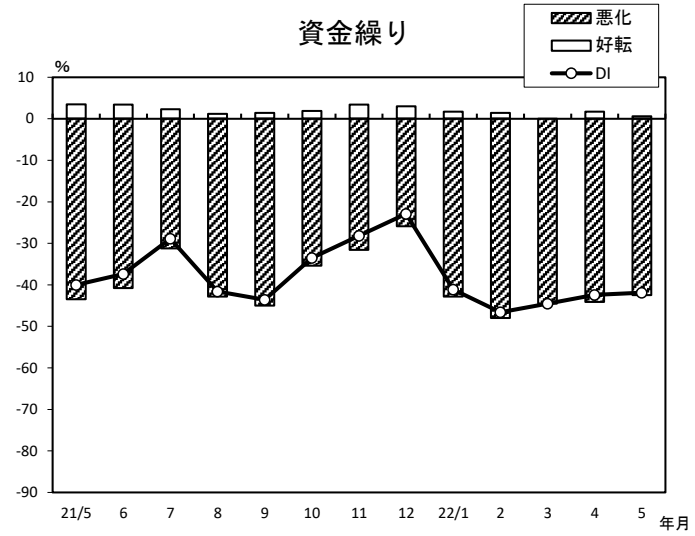


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.9	-47.6	-42.7
6	6.0	-38.8	-32.8
7	5.6	-38.2	-32.6
8	5.1	-44.5	-39.4
9	4.7	-43.1	-38.4
10	6.9	-35.7	-28.8
11	7.3	-32.9	-25.6
12	7.5	-30.4	-22.9
22/1	3.2	-41.7	-38.5
2	2.8	-47.7	-44.9
3	2.8	-46.6	-43.8
4	5.0	-52.4	-47.4
5	5.8	-47.2	-41.4

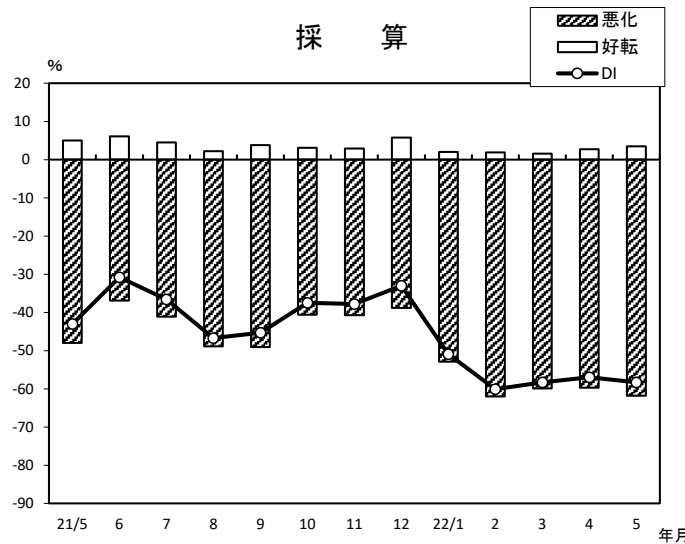
製 造 業【食料品】（前年同月比）



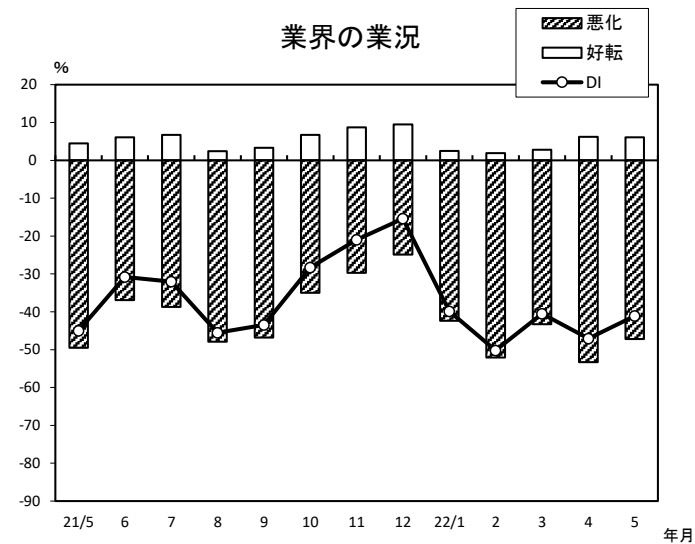
年/月	増加	減少	DI
21/5	12.0	-43.5	-31.5
6	10.5	-35.0	-24.5
7	12.4	-36.2	-23.8
8	9.2	-43.2	-34.0
9	10.0	-42.2	-32.2
10	14.2	-21.7	-7.5
11	17.0	-20.1	-3.1
12	24.2	-16.2	8.0
22/1	11.8	-34.2	-22.4
2	8.6	-38.6	-30.0
3	11.8	-30.3	-18.5
4	14.6	-24.2	-9.6
5	21.8	-18.4	3.4



年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.5	-43.5	-40.0
6	3.4	-40.8	-37.4
7	2.3	-31.2	-28.9
8	1.2	-42.8	-41.6
9	1.4	-45.0	-43.6
10	1.9	-35.4	-33.5
11	3.4	-31.6	-28.2
12	3.0	-25.9	-22.9
22/1	1.7	-42.8	-41.1
2	1.4	-48.0	-46.6
3	0.0	-44.5	-44.5
4	1.7	-44.1	-42.4
5	0.6	-42.5	-41.9

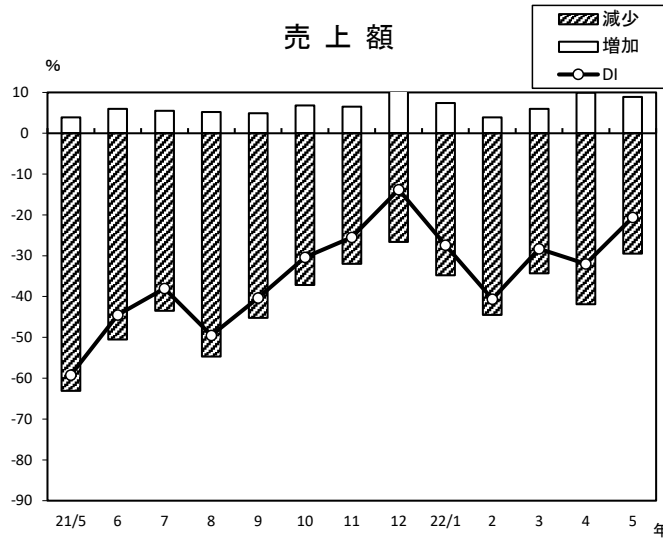


年/月	好転	悪化	DI
21/5	5.0	-48.0	-43.0
6	6.1	-36.9	-30.8
7	4.5	-41.1	-36.6
8	2.2	-48.9	-46.7
9	3.8	-49.1	-45.3
10	3.1	-40.6	-37.5
11	2.9	-40.7	-37.8
12	5.8	-38.8	-33.0
22/1	2.0	-52.9	-50.9
2	1.9	-62.0	-60.1
3	1.6	-59.9	-58.3
4	2.7	-59.7	-57.0
5	3.5	-61.8	-58.3

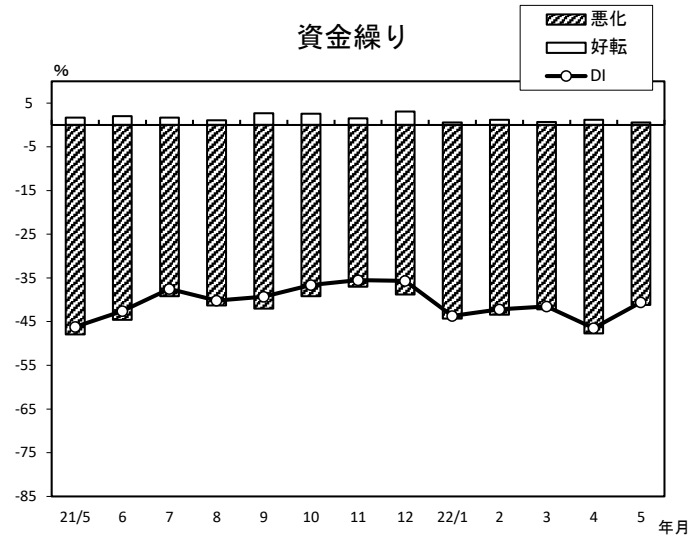


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.5	-49.5	-45.0
6	6.1	-36.9	-30.8
7	6.7	-38.7	-32.0
8	2.4	-47.9	-45.5
9	3.3	-46.8	-43.5
10	6.7	-35.0	-28.3
11	8.7	-29.7	-21.0
12	9.5	-24.9	-15.4
22/1	2.5	-42.4	-39.9
2	1.9	-52.1	-50.2
3	2.8	-43.3	-40.5
4	6.2	-53.3	-47.1
5	6.1	-47.2	-41.1

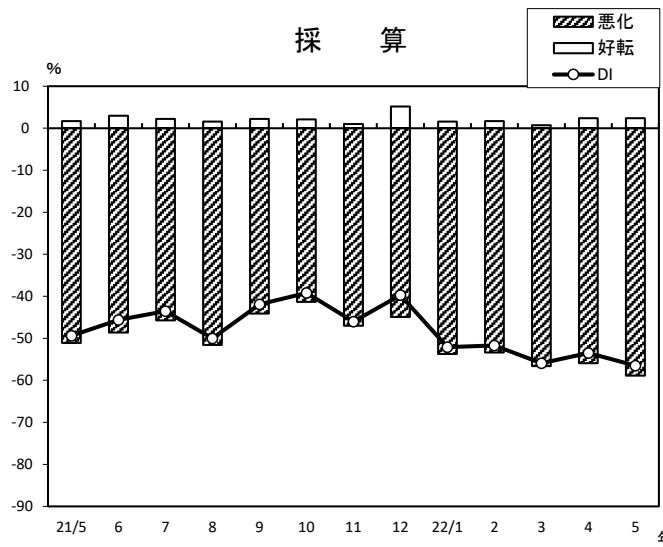
製 造 業 【 織 維 】 (前 年 同 月 比)



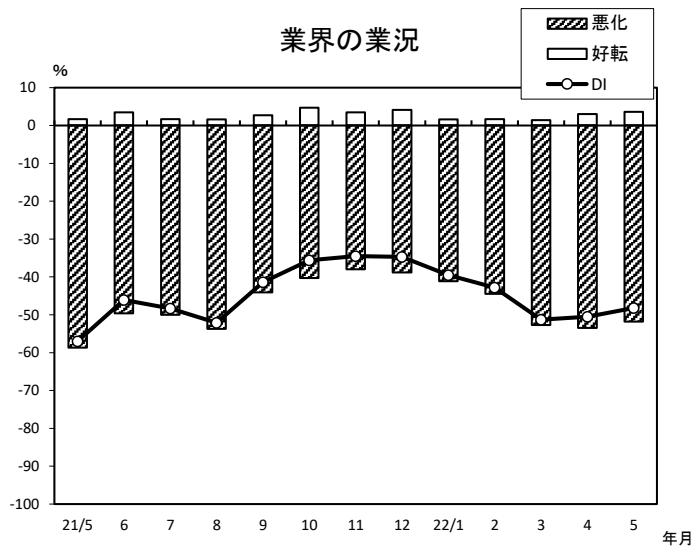
年/月	増加	減少	DI
21/5	3.9	-63.1	-59.2
6	6.0	-50.5	-44.5
7	5.5	-43.5	-38.0
8	5.2	-54.7	-49.5
9	4.9	-45.2	-40.3
10	6.8	-37.2	-30.4
11	6.5	-32.0	-25.5
12	12.8	-26.6	-13.8
22/1	7.4	-34.8	-27.4
2	3.9	-44.5	-40.6
3	6.0	-34.3	-28.3
4	9.9	-41.9	-32.0
5	8.9	-29.5	-20.6



年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.7	-47.9	-46.2
6	2.0	-44.6	-42.6
7	1.7	-39.2	-37.5
8	1.1	-41.3	-40.2
9	2.7	-42.0	-39.3
10	2.6	-39.2	-36.6
11	1.5	-37.0	-35.5
12	3.1	-38.8	-35.7
22/1	0.6	-44.3	-43.7
2	1.2	-43.4	-42.2
3	0.7	-42.2	-41.5
4	1.2	-47.7	-46.5
5	0.6	-41.2	-40.6

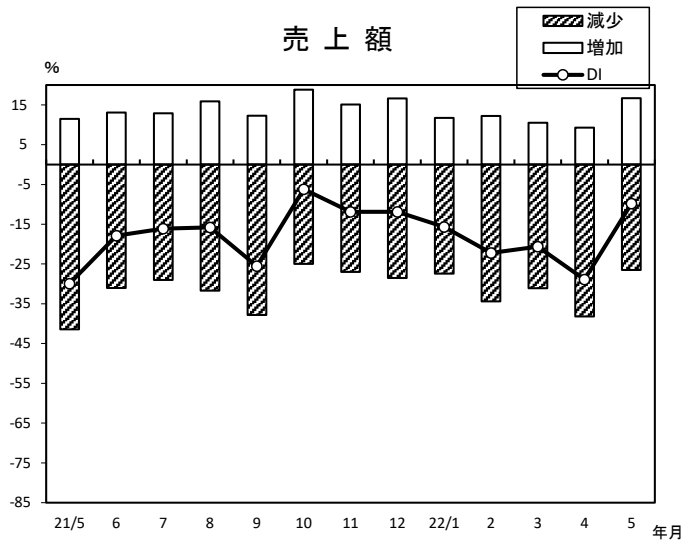


年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.7	-51.1	-49.4
6	3.0	-48.6	-45.6
7	2.2	-45.7	-43.5
8	1.6	-51.6	-50.0
9	2.2	-44.1	-41.9
10	2.1	-41.3	-39.2
11	1.0	-47.0	-46.0
12	5.2	-44.9	-39.7
22/1	1.6	-53.7	-52.1
2	1.7	-53.4	-51.7
3	0.7	-56.6	-55.9
4	2.4	-55.9	-53.5
5	2.4	-58.9	-56.5

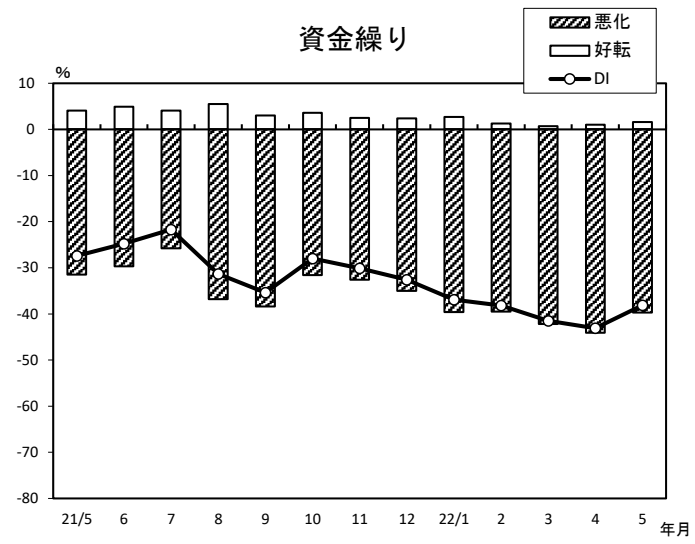


年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.7	-58.7	-57.0
6	3.5	-49.6	-46.1
7	1.7	-50.0	-48.3
8	1.6	-53.7	-52.1
9	2.7	-44.1	-41.4
10	4.7	-40.3	-35.6
11	3.5	-38.0	-34.5
12	4.1	-38.8	-34.7
22/1	1.6	-41.1	-39.5
2	1.7	-44.5	-42.8
3	1.4	-52.7	-51.3
4	3.0	-53.5	-50.5
5	3.6	-51.8	-48.2

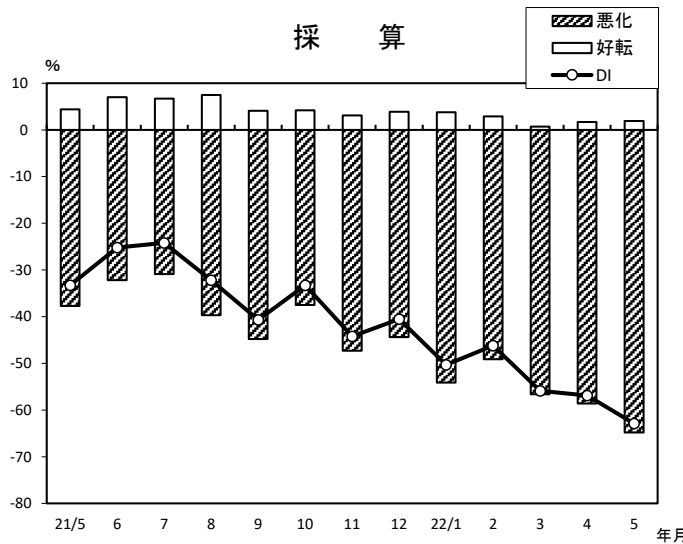
製 造 業 【機械・金属】（前年同月比）



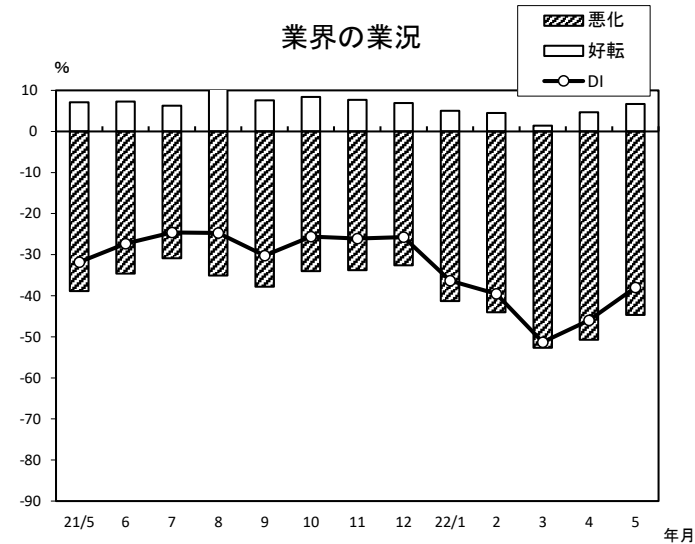
年/月	増加	減少	DI
21/5	11.5	-41.4	-29.9
6	13.1	-31.0	-17.9
7	12.9	-29.0	-16.1
8	15.9	-31.7	-15.8
9	12.3	-37.8	-25.5
10	18.8	-25.0	-6.2
11	15.1	-27.0	-11.9
12	16.6	-28.5	-11.9
22/1	11.7	-27.4	-15.7
2	12.2	-34.4	-22.2
3	10.5	-31.1	-20.6
4	9.3	-38.2	-28.9
5	16.7	-26.5	-9.8



年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.1	-31.5	-27.4
6	4.9	-29.7	-24.8
7	4.1	-25.8	-21.7
8	5.5	-36.8	-31.3
9	3.0	-38.4	-35.4
10	3.6	-31.6	-28.0
11	2.5	-32.6	-30.1
12	2.4	-35.0	-32.6
22/1	2.7	-39.6	-36.9
2	1.3	-39.5	-38.2
3	0.7	-42.2	-41.5
4	1.0	-44.1	-43.1
5	1.6	-39.7	-38.1



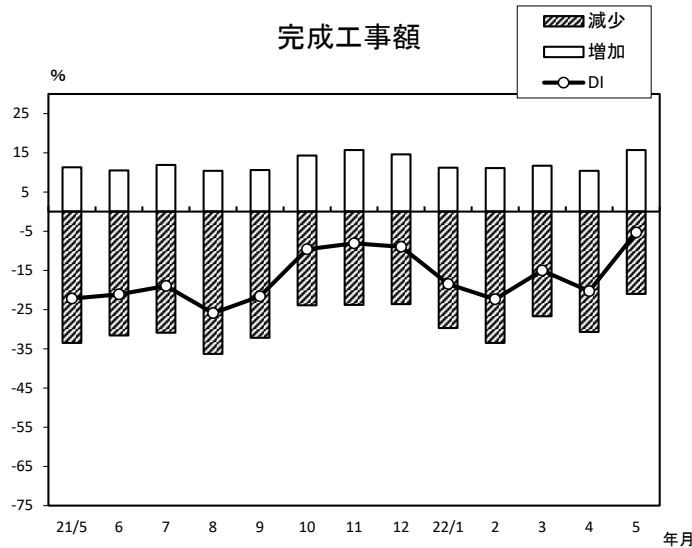
年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.4	-37.7	-33.3
6	7.0	-32.2	-25.2
7	6.7	-30.9	-24.2
8	7.5	-39.7	-32.2
9	4.1	-44.8	-40.7
10	4.2	-37.5	-33.3
11	3.1	-47.3	-44.2
12	3.9	-44.4	-40.5
22/1	3.8	-54.1	-50.3
2	2.9	-49.1	-46.2
3	0.7	-56.6	-55.9
4	1.7	-58.6	-56.9
5	1.9	-64.8	-62.9



年/月	好転	悪化	DI
21/5	7.1	-38.9	-31.8
6	7.3	-34.6	-27.3
7	6.3	-30.9	-24.6
8	10.4	-35.1	-24.7
9	7.6	-37.8	-30.2
10	8.4	-34.0	-25.6
11	7.7	-33.8	-26.1
12	6.9	-32.6	-25.7
22/1	5.0	-41.3	-36.3
2	4.5	-44.0	-39.5
3	1.4	-52.7	-51.3
4	4.7	-50.7	-46.0
5	6.7	-44.7	-38.0

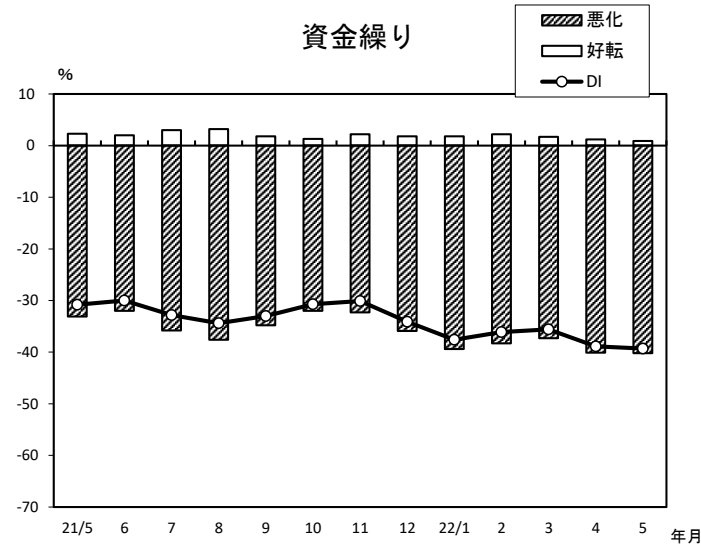
建設業(前年同月比)

完成工事額



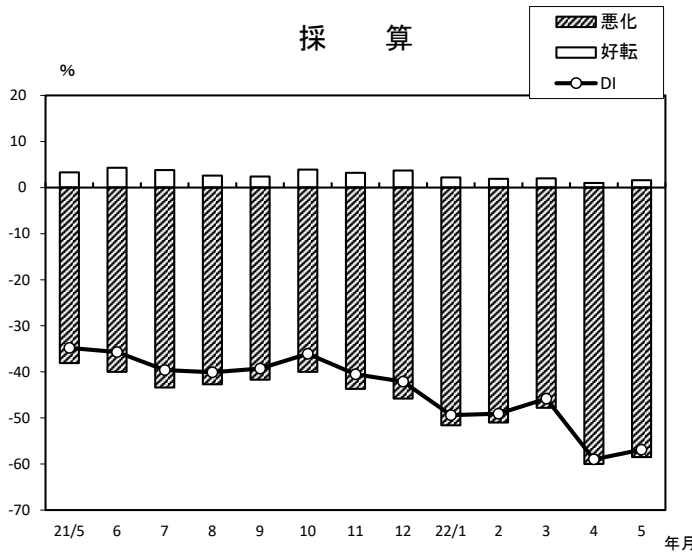
年/月	増加	減少	DI
21/5	11.3	-33.5	-22.2
6	10.5	-31.6	-21.1
7	11.9	-30.9	-19.0
8	10.4	-36.3	-25.9
9	10.6	-32.2	-21.6
10	14.3	-23.9	-9.6
11	15.7	-23.8	-8.1
12	14.6	-23.6	-9.0
22/1	11.2	-29.7	-18.5
2	11.1	-33.5	-22.4
3	11.7	-26.7	-15.0
4	10.4	-30.7	-20.3
5	15.7	-21.0	-5.3

資金繰り



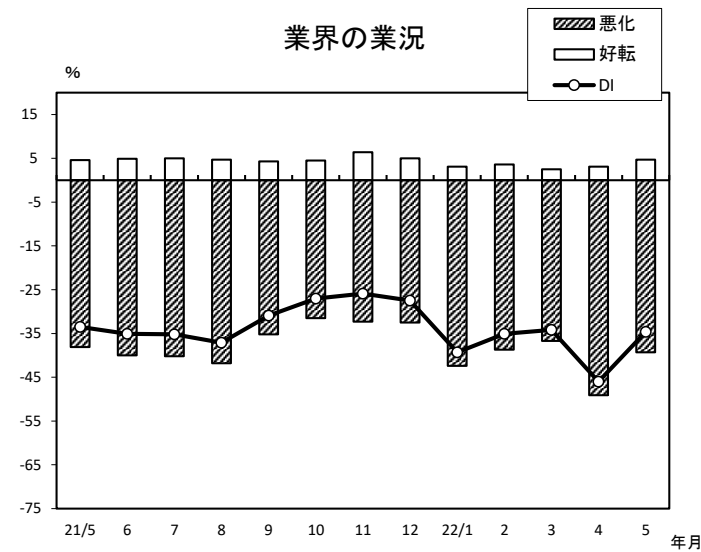
年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.3	-33.1	-30.8
6	2.0	-32.0	-30.0
7	3.0	-35.8	-32.8
8	3.2	-37.6	-34.4
9	1.8	-34.8	-33.0
10	1.3	-32.0	-30.7
11	2.2	-32.3	-30.1
12	1.8	-35.9	-34.1
22/1	1.8	-39.4	-37.6
2	2.2	-38.3	-36.1
3	1.7	-37.3	-35.6
4	1.2	-40.1	-38.9
5	0.9	-40.2	-39.3

採算



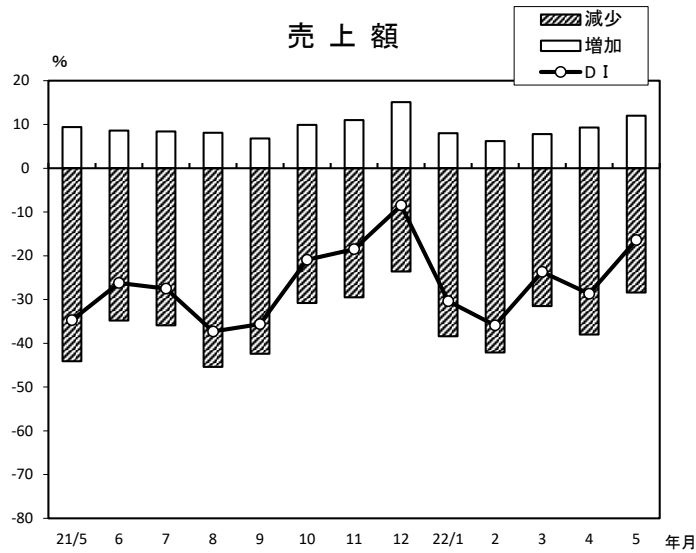
年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.3	-38.1	-34.8
6	4.3	-40.0	-35.7
7	3.8	-43.4	-39.6
8	2.6	-42.7	-40.1
9	2.4	-41.7	-39.3
10	3.9	-40.0	-36.1
11	3.2	-43.7	-40.5
12	3.7	-45.8	-42.1
22/1	2.2	-51.6	-49.4
2	1.9	-51.0	-49.1
3	2.0	-47.8	-45.8
4	1.0	-60.0	-59.0
5	1.6	-58.5	-56.9

業界の業況

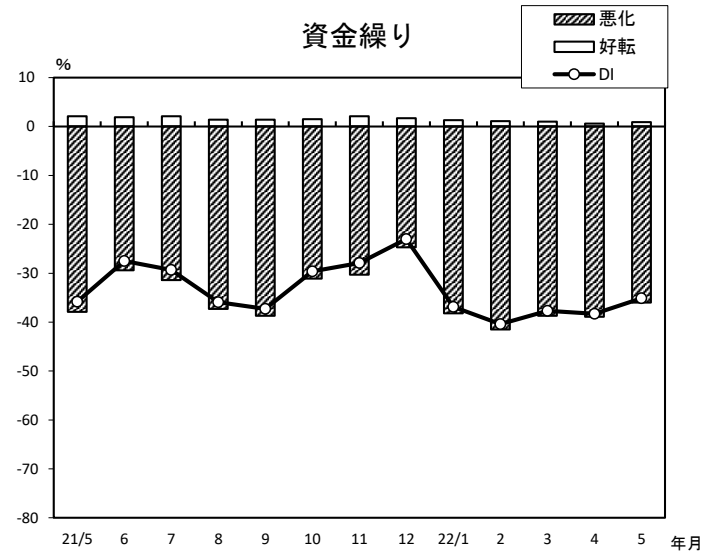


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.6	-38.1	-33.5
6	4.9	-40.0	-35.1
7	5.0	-40.2	-35.2
8	4.7	-41.8	-37.1
9	4.3	-35.2	-30.9
10	4.5	-31.5	-27.0
11	6.4	-32.3	-25.9
12	5.0	-32.5	-27.5
22/1	3.1	-42.4	-39.3
2	3.6	-38.7	-35.1
3	2.5	-36.7	-34.2
4	3.1	-49.1	-46.0
5	4.7	-39.3	-34.6

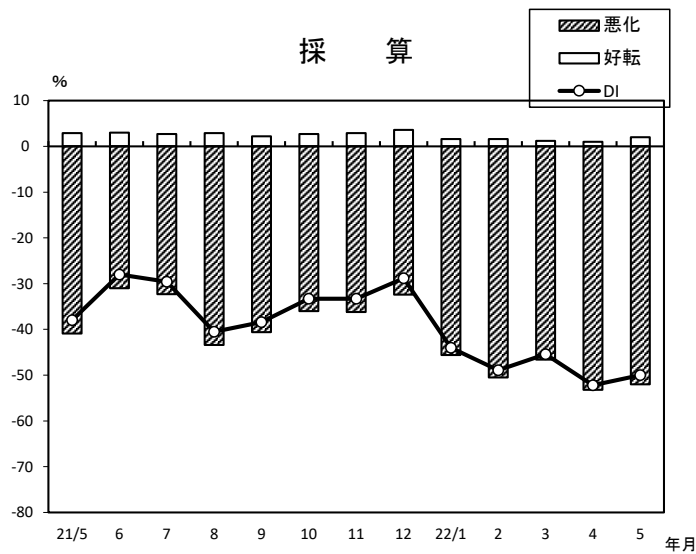
小 売 業(前年同月比)



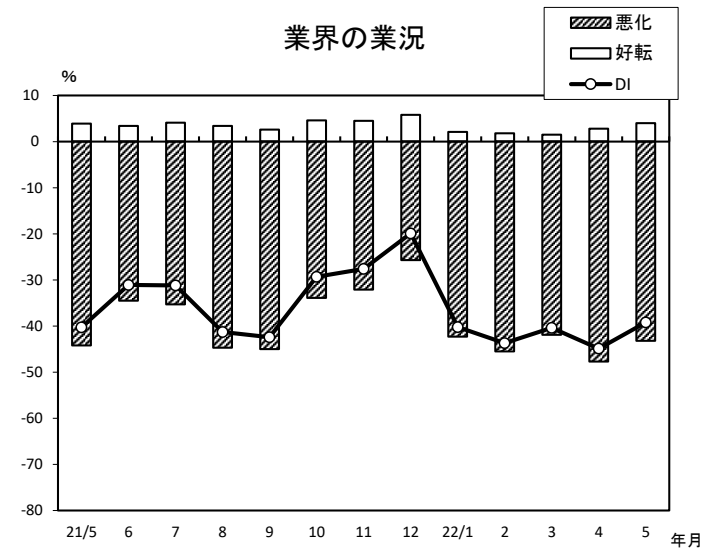
年/月	増加	減少	DI
21/5	9.4	-44.1	-34.7
6	8.6	-34.8	-26.2
7	8.4	-35.9	-27.5
8	8.1	-45.4	-37.3
9	6.8	-42.4	-35.6
10	9.9	-30.8	-20.9
11	11.0	-29.5	-18.5
12	15.1	-23.6	-8.5
22/1	8.0	-38.4	-30.4
2	6.2	-42.1	-35.9
3	7.8	-31.5	-23.7
4	9.3	-38.0	-28.7
5	12.0	-28.4	-16.4



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.1	-37.9	-35.8
6	1.9	-29.4	-27.5
7	2.1	-31.4	-29.3
8	1.4	-37.3	-35.9
9	1.4	-38.7	-37.3
10	1.5	-31.1	-29.6
11	2.1	-30.3	-27.9
12	1.7	-24.7	-23.0
22/1	1.3	-38.2	-36.9
2	1.1	-41.5	-40.4
3	1.0	-38.7	-37.7
4	0.6	-38.9	-38.3
5	0.9	-36.0	-35.1

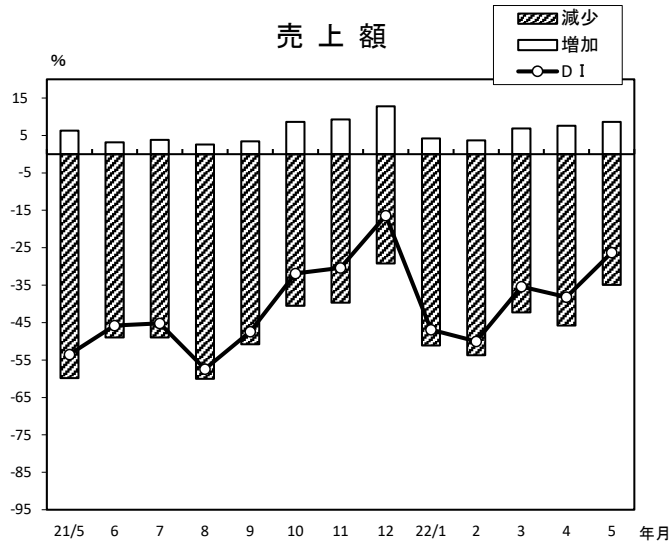


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.9	-40.9	-38.0
6	3.0	-31.0	-28.0
7	2.7	-32.3	-29.6
8	2.9	-43.4	-40.5
9	2.2	-40.6	-38.4
10	2.7	-36.0	-33.3
11	2.9	-36.2	-33.3
12	3.6	-32.4	-28.8
22/1	1.6	-45.6	-44.0
2	1.6	-50.5	-48.9
3	1.2	-46.6	-45.4
4	1.0	-53.2	-52.2
5	2.0	-52.0	-50.0

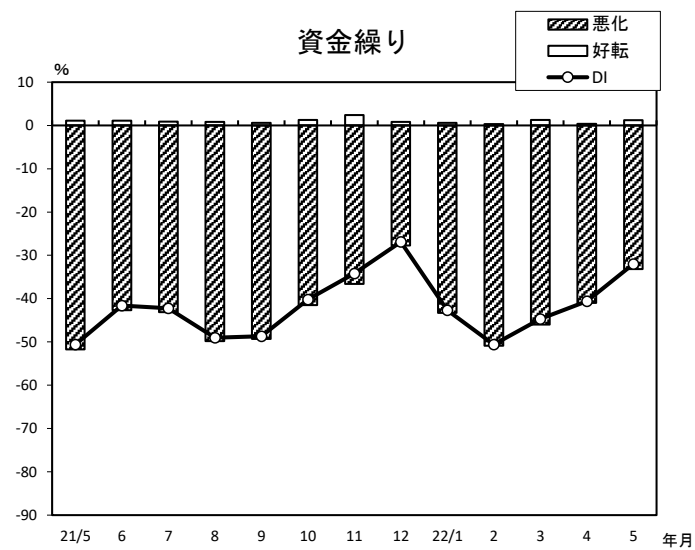


年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.9	-44.2	-40.3
6	3.4	-34.5	-31.1
7	4.1	-35.3	-31.2
8	3.4	-44.7	-41.3
9	2.6	-45.0	-42.4
10	4.6	-33.9	-29.3
11	4.5	-32.1	-27.6
12	5.8	-25.7	-19.9
22/1	2.1	-42.3	-40.2
2	1.8	-45.5	-43.7
3	1.5	-41.9	-40.4
4	2.8	-47.7	-44.9
5	4.0	-43.2	-39.2

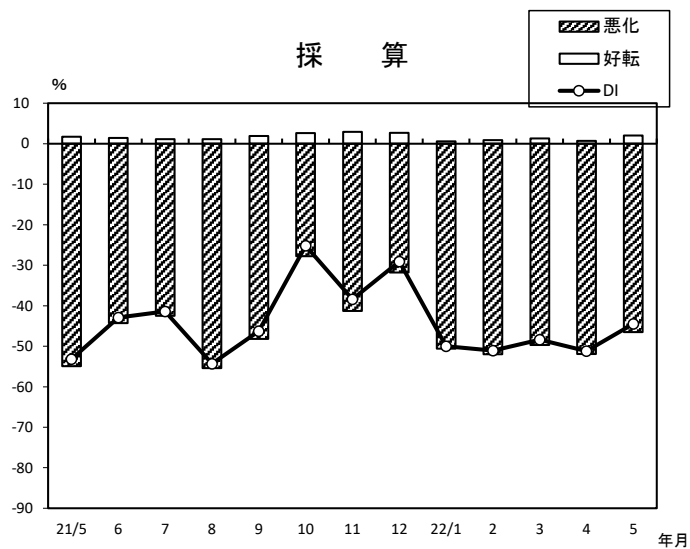
小 売 業 【衣料品】（前年同月比）



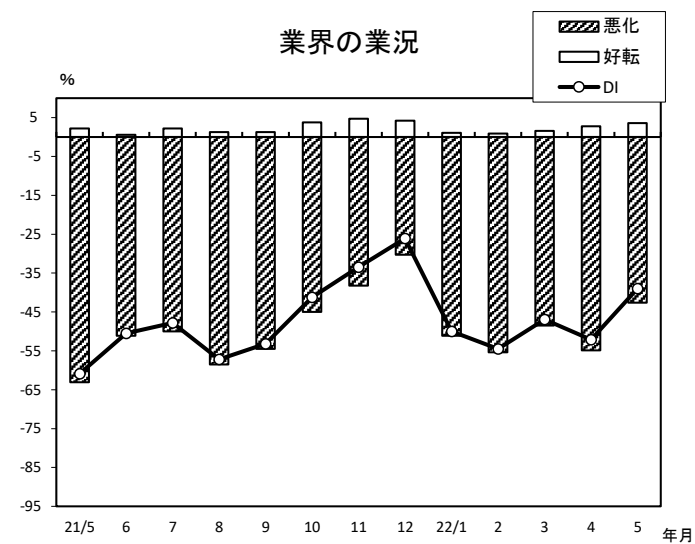
年/月	増加	減少	DI
21/5	6.3	-59.8	-53.5
6	3.2	-49.0	-45.8
7	3.8	-49.0	-45.2
8	2.6	-60.0	-57.4
9	3.4	-50.8	-47.4
10	8.6	-40.5	-31.9
11	9.3	-39.7	-30.4
12	12.8	-29.2	-16.4
22/1	4.2	-51.1	-46.9
2	3.7	-53.7	-50.0
3	6.9	-42.3	-35.4
4	7.6	-45.8	-38.2
5	8.6	-34.9	-26.3



年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.1	-51.7	-50.6
6	1.1	-42.7	-41.6
7	0.9	-43.1	-42.2
8	0.8	-49.8	-49.0
9	0.6	-49.3	-48.7
10	1.3	-41.5	-40.2
11	2.4	-36.6	-34.2
12	0.8	-27.7	-26.9
22/1	0.6	-43.3	-42.7
2	0.3	-50.9	-50.6
3	1.3	-46.0	-44.7
4	0.4	-41.0	-40.6
5	1.2	-33.2	-32.0

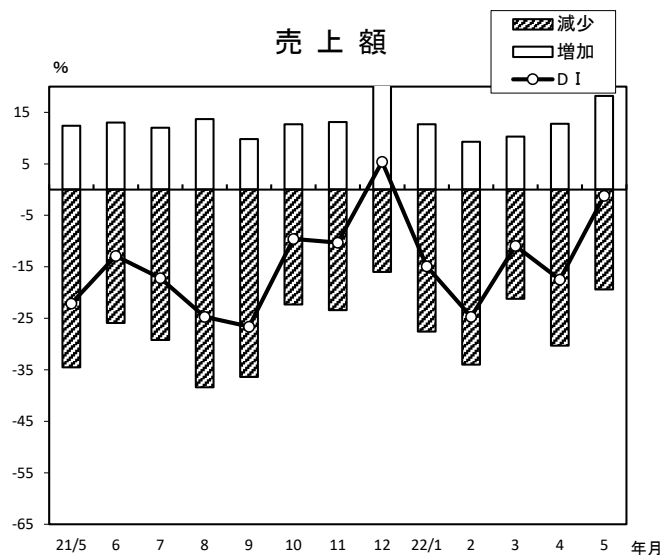


年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.7	-54.9	-53.2
6	1.4	-44.3	-42.9
7	1.1	-42.5	-41.4
8	1.1	-55.4	-54.3
9	1.9	-48.2	-46.3
10	2.6	-27.8	-25.2
11	2.9	-41.3	-38.4
12	2.7	-31.8	-29.1
22/1	0.6	-50.6	-50.0
2	0.9	-52.0	-51.1
3	1.3	-49.7	-48.4
4	0.7	-51.9	-51.2
5	2.0	-46.5	-44.5

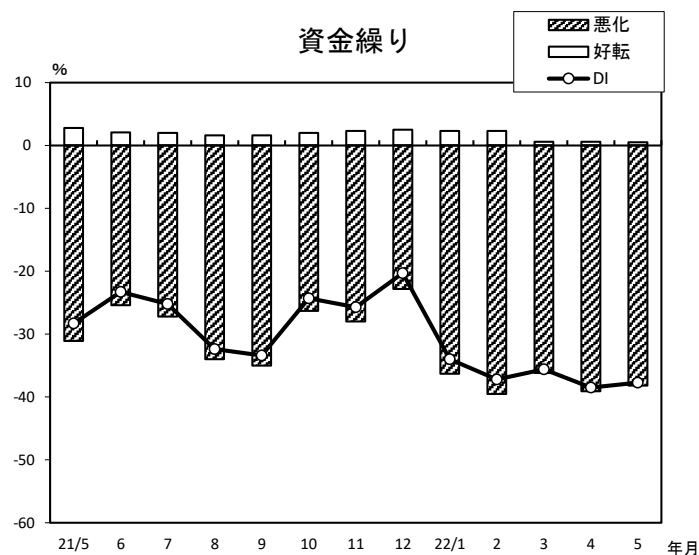


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.2	-63.1	-60.9
6	0.6	-51.1	-50.5
7	2.2	-50.0	-47.8
8	1.3	-58.5	-57.2
9	1.3	-54.5	-53.2
10	3.8	-45.0	-41.2
11	4.7	-38.2	-33.5
12	4.2	-30.3	-26.1
22/1	1.1	-51.1	-50.0
2	0.9	-55.4	-54.5
3	1.6	-48.5	-46.9
4	2.8	-54.9	-52.1
5	3.6	-42.6	-39.0

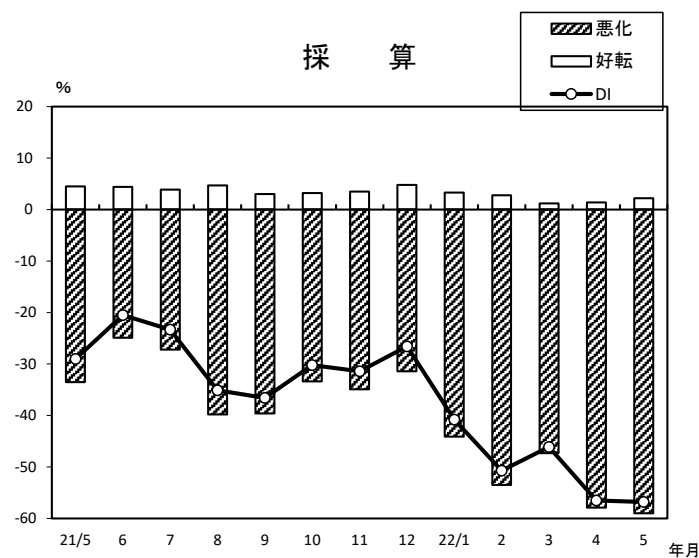
小 売 業【食料品】（前年同月比）



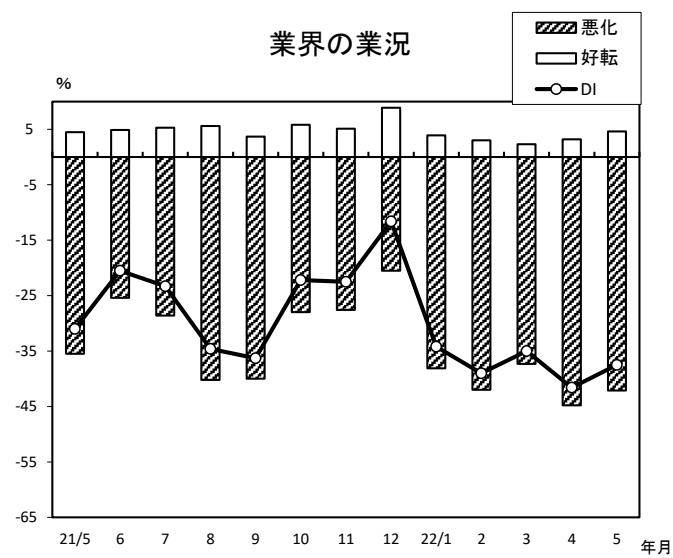
年/月	増加	減少	DI
21/5	12.4	-34.5	-22.1
6	13.0	-25.9	-12.9
7	12.0	-29.2	-17.2
8	13.7	-38.4	-24.7
9	9.8	-36.4	-26.6
10	12.7	-22.3	-9.6
11	13.1	-23.4	-10.3
12	21.4	-16.0	5.4
22/1	12.7	-27.6	-14.9
2	9.3	-34.0	-24.7
3	10.3	-21.2	-10.9
4	12.8	-30.3	-17.5
5	18.2	-19.4	-1.2



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.8	-31.1	-28.3
6	2.1	-25.4	-23.3
7	2.0	-27.2	-25.2
8	1.6	-34.0	-32.4
9	1.6	-35.0	-33.4
10	2.0	-26.3	-24.3
11	2.3	-28.0	-25.7
12	2.5	-22.8	-20.3
22/1	2.3	-36.3	-34.0
2	2.3	-39.5	-37.2
3	0.6	-36.2	-35.6
4	0.6	-39.1	-38.5
5	0.5	-38.2	-37.7

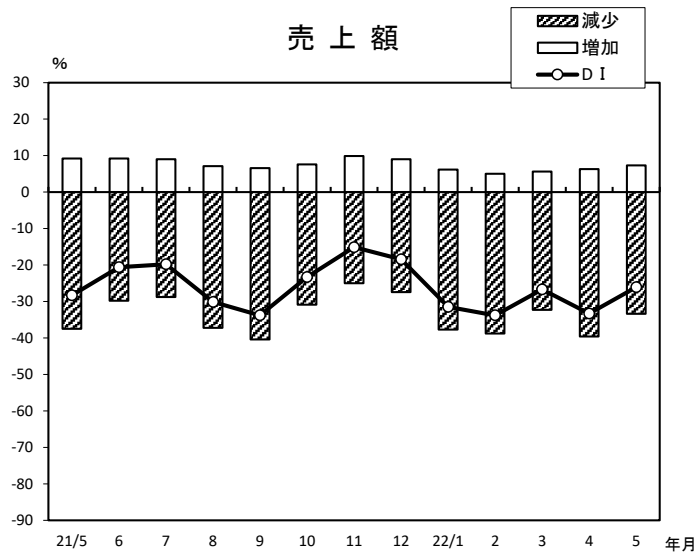


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.5	-33.5	-29.0
6	4.4	-24.9	-20.5
7	3.9	-27.2	-23.3
8	4.7	-39.8	-35.1
9	3.0	-39.6	-36.6
10	3.2	-33.4	-30.2
11	3.5	-34.9	-31.4
12	4.8	-31.4	-26.6
22/1	3.3	-44.1	-40.8
2	2.8	-53.5	-50.7
3	1.2	-47.3	-46.1
4	1.4	-57.9	-56.5
5	2.2	-59.0	-56.8

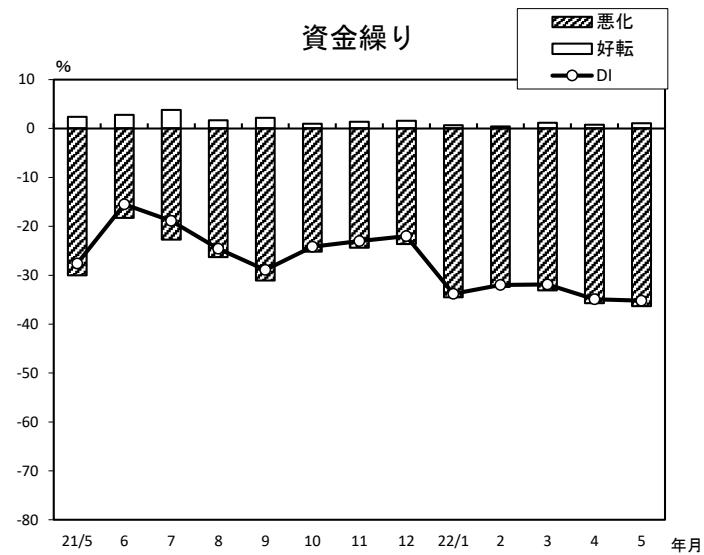


年/月	好転	悪化	DI
21/5	4.5	-35.5	-31.0
6	4.9	-25.4	-20.5
7	5.3	-28.6	-23.3
8	5.6	-40.2	-34.6
9	3.7	-40.0	-36.3
10	5.8	-28.0	-22.2
11	5.1	-27.6	-22.5
12	8.9	-20.5	-11.6
22/1	3.9	-38.1	-34.2
2	3.0	-42.0	-39.0
3	2.3	-37.3	-35.0
4	3.2	-44.8	-41.6
5	4.6	-42.1	-37.5

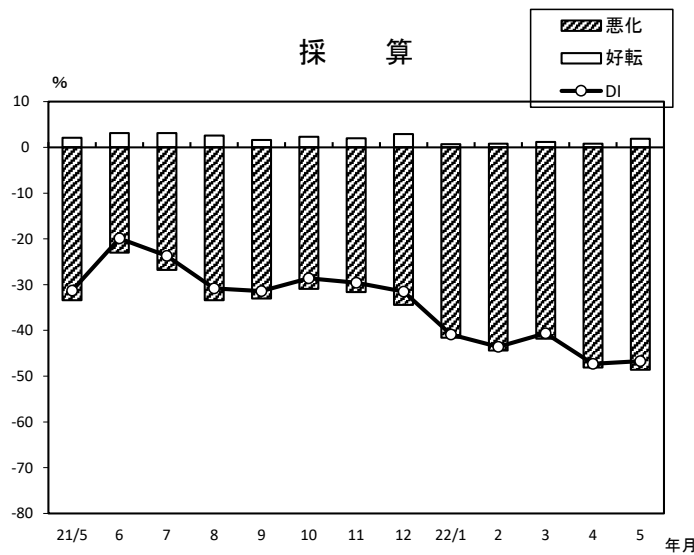
小 売 業 【耐久消費財】（前年同月比）



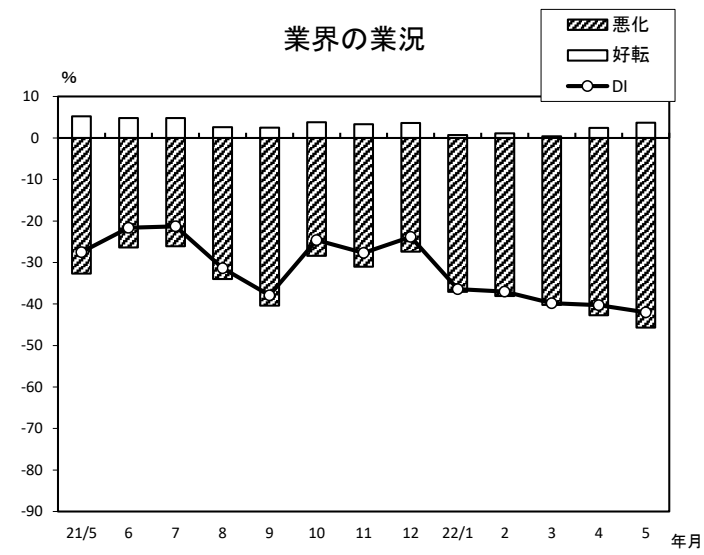
年/月	増加	減少	DI
21/5	9.2	-37.5	-28.3
6	9.2	-29.8	-20.6
7	9.0	-28.8	-19.8
8	7.1	-37.2	-30.1
9	6.6	-40.4	-33.8
10	7.6	-30.9	-23.3
11	9.9	-25.0	-15.1
12	9.0	-27.4	-18.4
22/1	6.2	-37.7	-31.5
2	5.0	-38.8	-33.8
3	5.6	-32.3	-26.7
4	6.3	-39.6	-33.3
5	7.3	-33.4	-26.1



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.4	-30.0	-27.6
6	2.8	-18.3	-15.5
7	3.8	-22.7	-18.9
8	1.7	-26.3	-24.6
9	2.2	-31.1	-28.9
10	1.0	-25.2	-24.2
11	1.4	-24.4	-23.0
12	1.6	-23.6	-22.0
22/1	0.7	-34.5	-33.8
2	0.4	-32.4	-32.0
3	1.2	-33.1	-31.9
4	0.8	-35.7	-34.9
5	1.1	-36.3	-35.2

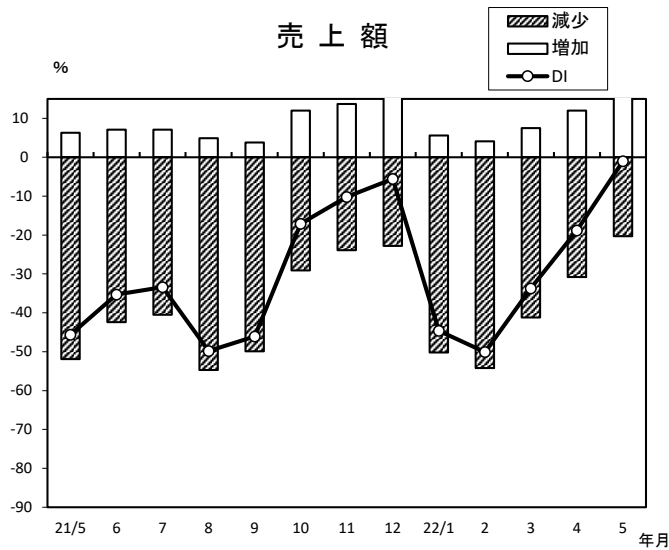


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.1	-33.4	-31.3
6	3.1	-23.0	-19.9
7	3.1	-26.8	-23.7
8	2.6	-33.4	-30.8
9	1.6	-33.0	-31.4
10	2.3	-30.9	-28.6
11	2.0	-31.6	-29.6
12	2.9	-34.4	-31.5
22/1	0.7	-41.6	-40.9
2	0.8	-44.4	-43.6
3	1.2	-41.8	-40.6
4	0.8	-48.1	-47.3
5	1.9	-48.6	-46.7

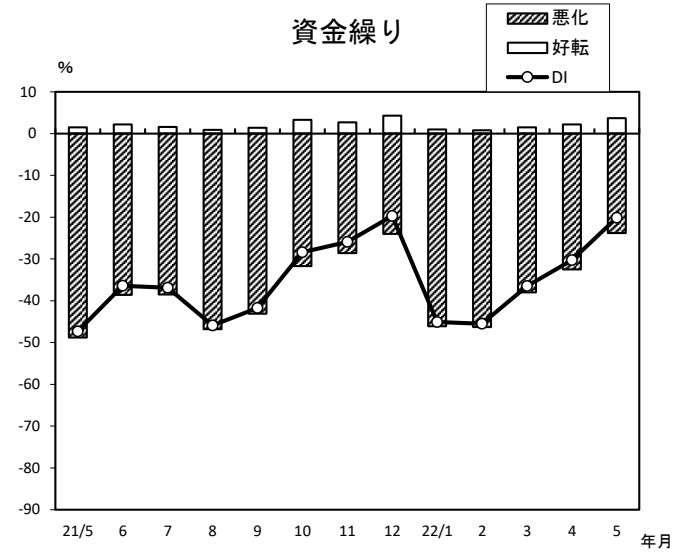


年/月	好転	悪化	DI
21/5	5.2	-32.7	-27.5
6	4.8	-26.4	-21.6
7	4.8	-26.1	-21.3
8	2.6	-34.0	-31.4
9	2.5	-40.4	-37.9
10	3.8	-28.4	-24.6
11	3.3	-31.0	-27.7
12	3.6	-27.4	-23.8
22/1	0.7	-37.1	-36.4
2	1.1	-38.1	-37.0
3	0.4	-40.2	-39.8
4	2.4	-42.7	-40.3
5	3.7	-45.7	-42.0

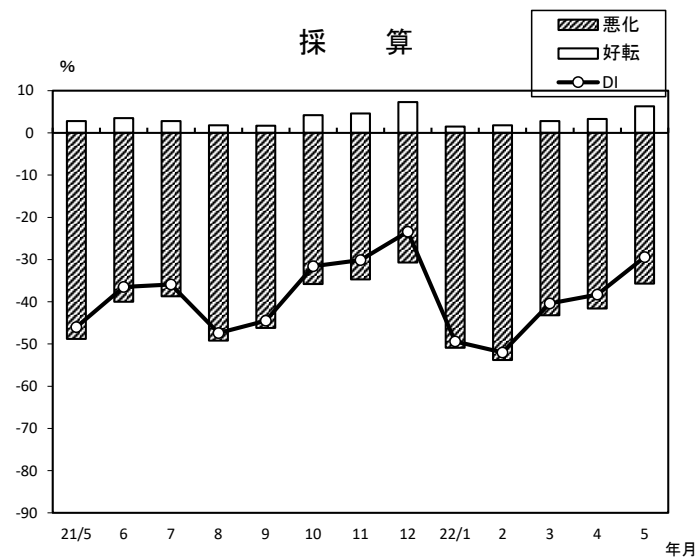
サービス業(前年同月比)



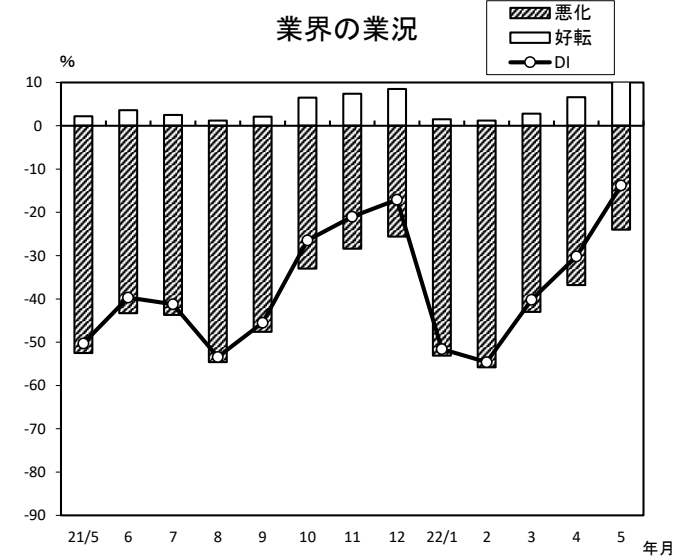
年/月	増加	減少	DI
21/5	6.3	-51.9	-45.6
6	7.1	-42.4	-35.3
7	7.1	-40.5	-33.4
8	4.9	-54.7	-49.8
9	3.8	-49.9	-46.1
10	12.0	-29.1	-17.1
11	13.7	-23.9	-10.2
12	17.2	-22.8	-5.6
22/1	5.6	-50.2	-44.6
2	4.1	-54.2	-50.1
3	7.5	-41.2	-33.7
4	12.0	-30.8	-18.8
5	19.3	-20.3	-1.0



年/月	好転	悪化	DI
21/5	1.5	-48.8	-47.3
6	2.2	-38.6	-36.4
7	1.6	-38.5	-36.9
8	0.9	-46.8	-45.9
9	1.4	-43.1	-41.7
10	3.3	-31.7	-28.4
11	2.7	-28.6	-25.9
12	4.3	-24.0	-19.7
22/1	1.0	-46.1	-45.1
2	0.8	-46.3	-45.5
3	1.5	-38.0	-36.5
4	2.2	-32.5	-30.3
5	3.7	-23.8	-20.1

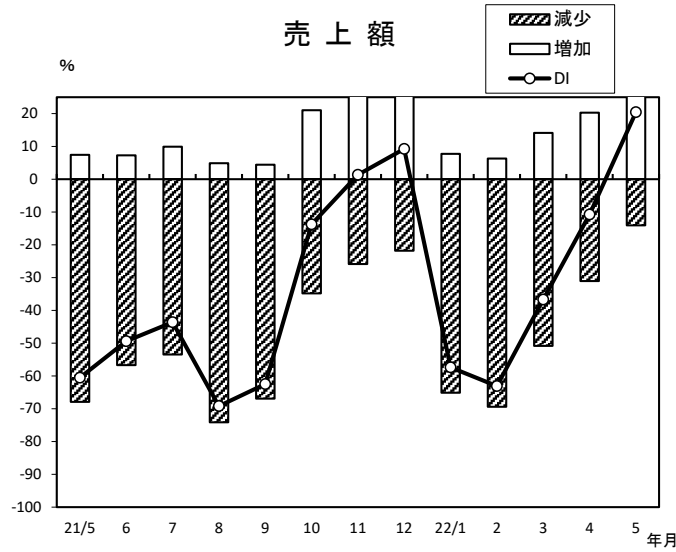


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.8	-48.8	-46.0
6	3.5	-40.0	-36.5
7	2.8	-38.7	-35.9
8	1.8	-49.2	-47.4
9	1.7	-46.2	-44.5
10	4.2	-35.8	-31.6
11	4.6	-34.7	-30.1
12	7.3	-30.7	-23.4
22/1	1.5	-50.9	-49.4
2	1.8	-53.8	-52.0
3	2.8	-43.2	-40.4
4	3.3	-41.6	-38.3
5	6.3	-35.7	-29.4

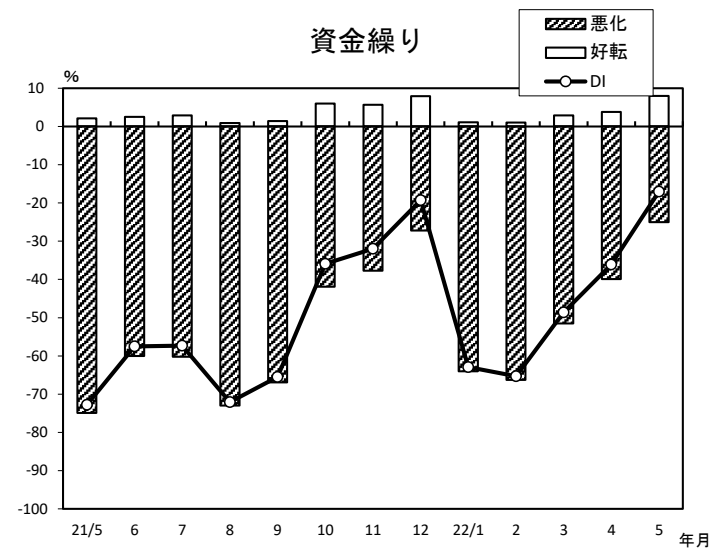


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.2	-52.5	-50.3
6	3.6	-43.3	-39.7
7	2.5	-43.7	-41.2
8	1.2	-54.6	-53.4
9	2.1	-47.6	-45.5
10	6.5	-33.0	-26.5
11	7.4	-28.4	-21.0
12	8.5	-25.6	-17.1
22/1	1.5	-53.1	-51.6
2	1.2	-55.8	-54.6
3	2.8	-43.0	-40.2
4	6.6	-36.8	-30.2
5	10.2	-24.0	-13.8

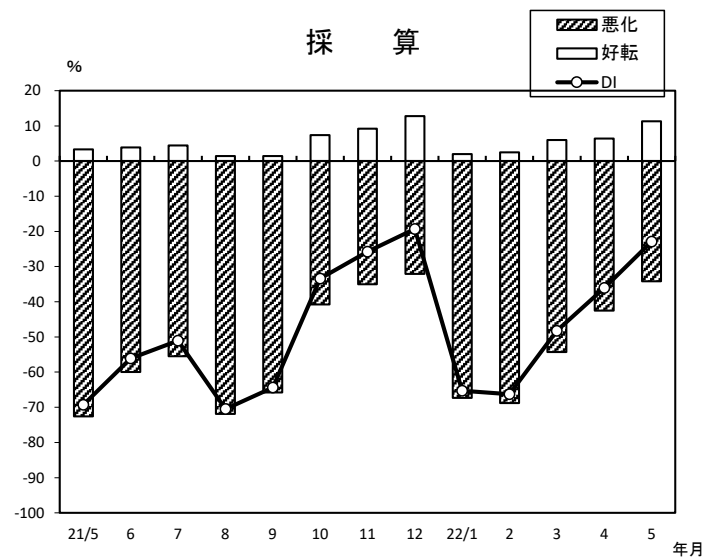
サービス業【旅館】（前年同月比）



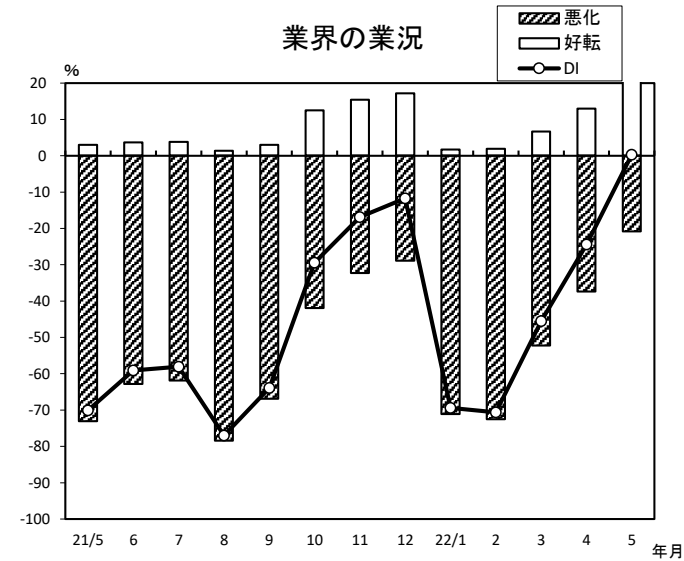
年/月	増加	減少	DI
21/5	7.4	-67.9	-60.5
6	7.3	-56.7	-49.4
7	9.9	-53.5	-43.6
8	4.9	-74.1	-69.2
9	4.4	-66.9	-62.5
10	21.0	-34.8	-13.8
11	27.2	-25.9	1.3
12	31.0	-21.8	9.2
22/1	7.7	-65.1	-57.4
2	6.3	-69.4	-63.1
3	14.1	-50.8	-36.7
4	20.3	-31.1	-10.8
5	34.5	-14.1	20.4



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.1	-74.9	-72.8
6	2.5	-60.0	-57.5
7	2.9	-60.2	-57.3
8	0.9	-73.0	-72.1
9	1.4	-66.9	-65.5
10	6.0	-41.9	-35.9
11	5.7	-37.7	-32.0
12	7.9	-27.2	-19.3
22/1	1.1	-64.0	-62.9
2	1.0	-66.3	-65.3
3	2.9	-51.5	-48.6
4	3.8	-39.9	-36.1
5	8.0	-25.0	-17.0

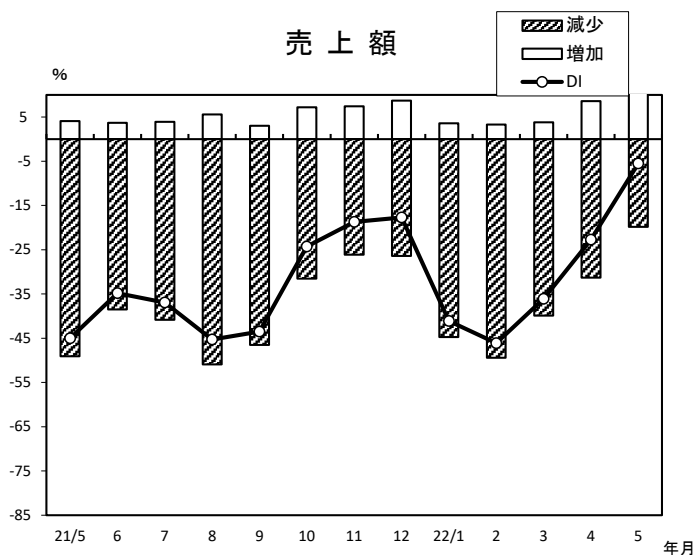


年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.3	-72.6	-69.3
6	3.9	-60.0	-56.1
7	4.4	-55.5	-51.1
8	1.4	-71.9	-70.5
9	1.4	-65.8	-64.4
10	7.4	-40.8	-33.4
11	9.2	-35.0	-25.8
12	12.8	-32.1	-19.3
22/1	2.0	-67.3	-65.3
2	2.5	-68.8	-66.3
3	6.0	-54.3	-48.3
4	6.4	-42.5	-36.1
5	11.3	-34.2	-22.9

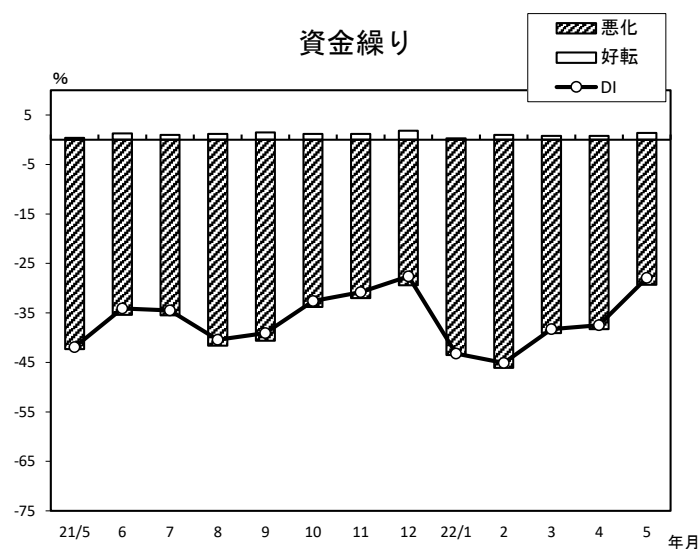


年/月	好転	悪化	DI
21/5	3.0	-73.1	-70.1
6	3.7	-62.8	-59.1
7	3.8	-61.9	-58.1
8	1.4	-78.4	-77.0
9	3.0	-66.9	-63.9
10	12.5	-41.9	-29.4
11	15.4	-32.3	-16.9
12	17.2	-28.9	-11.7
22/1	1.7	-71.1	-69.4
2	1.9	-72.5	-70.6
3	6.7	-52.2	-45.5
4	13.0	-37.4	-24.4
5	21.1	-20.8	0.3

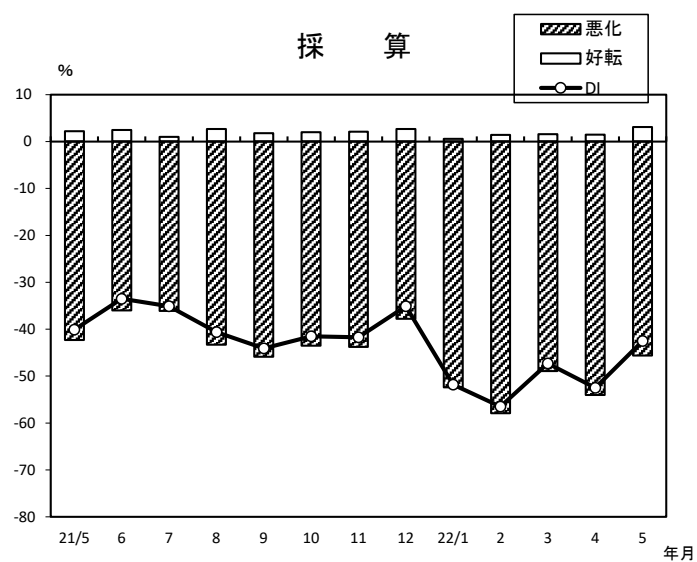
サービス業【クリーニング】（前年同月比）



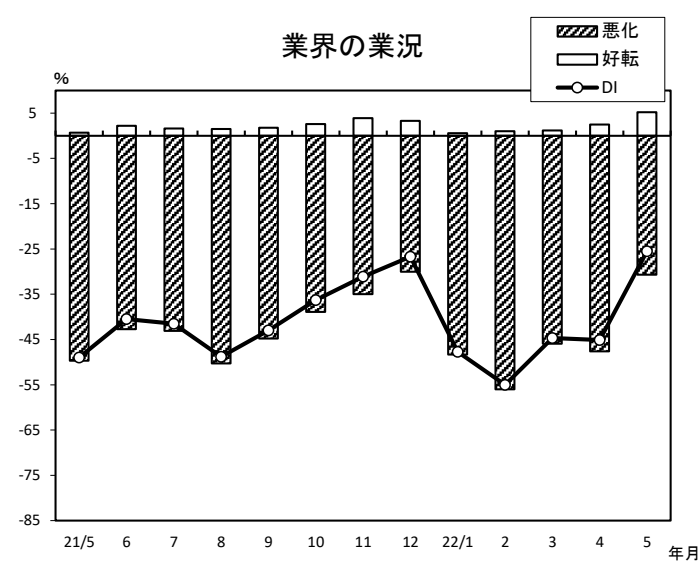
年/月	増加	減少	DI
21/5	4.1	-49.1	-45.0
6	3.7	-38.5	-34.8
7	3.9	-40.8	-36.9
8	5.6	-50.9	-45.3
9	3.0	-46.5	-43.5
10	7.2	-31.5	-24.3
11	7.4	-26.1	-18.7
12	8.7	-26.4	-17.7
22/1	3.6	-44.7	-41.1
2	3.3	-49.4	-46.1
3	3.8	-39.9	-36.1
4	8.6	-31.3	-22.7
5	14.3	-19.8	-5.5



年/月	好転	悪化	DI
21/5	0.4	-42.3	-41.9
6	1.3	-35.4	-34.1
7	1.0	-35.5	-34.5
8	1.2	-41.6	-40.4
9	1.5	-40.6	-39.1
10	1.2	-33.8	-32.6
11	1.2	-32.0	-30.8
12	1.8	-29.4	-27.6
22/1	0.3	-43.5	-43.2
2	1.0	-46.1	-45.1
3	0.8	-39.1	-38.3
4	0.8	-38.3	-37.5
5	1.4	-29.3	-27.9

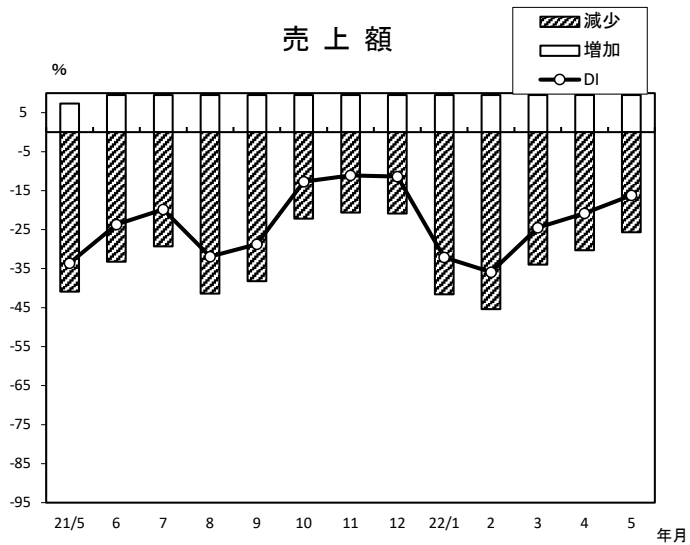


年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.2	-42.3	-40.1
6	2.5	-36.0	-33.5
7	1.0	-36.1	-35.1
8	2.7	-43.3	-40.6
9	1.8	-45.9	-44.1
10	2.0	-43.5	-41.5
11	2.1	-43.8	-41.7
12	2.7	-37.8	-35.1
22/1	0.6	-52.4	-51.8
2	1.4	-57.9	-56.5
3	1.6	-48.9	-47.3
4	1.5	-54.0	-52.5
5	3.1	-45.6	-42.5

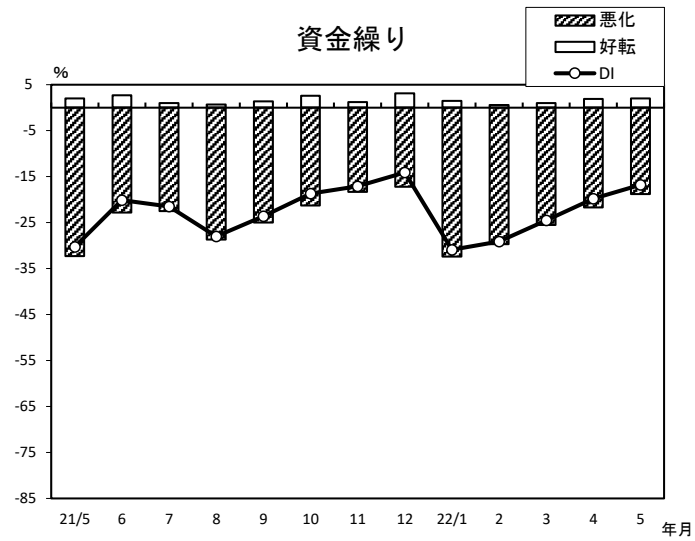


年/月	好転	悪化	DI
21/5	0.7	-49.7	-49.0
6	2.2	-42.7	-40.5
7	1.6	-43.1	-41.5
8	1.5	-50.3	-48.8
9	1.8	-44.8	-43.0
10	2.6	-38.9	-36.3
11	3.9	-35.0	-31.1
12	3.3	-30.0	-26.7
22/1	0.6	-48.3	-47.7
2	1.0	-56.0	-55.0
3	1.2	-45.9	-44.7
4	2.5	-47.6	-45.1
5	5.2	-30.7	-25.5

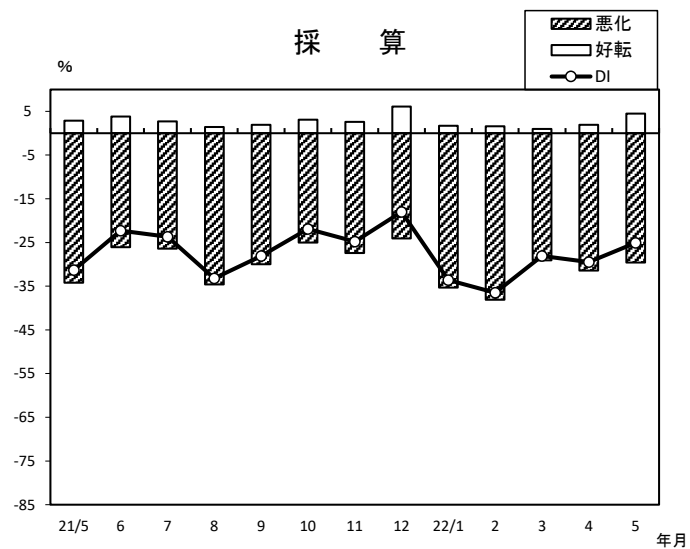
サービス業【理・美容】（前年同月比）



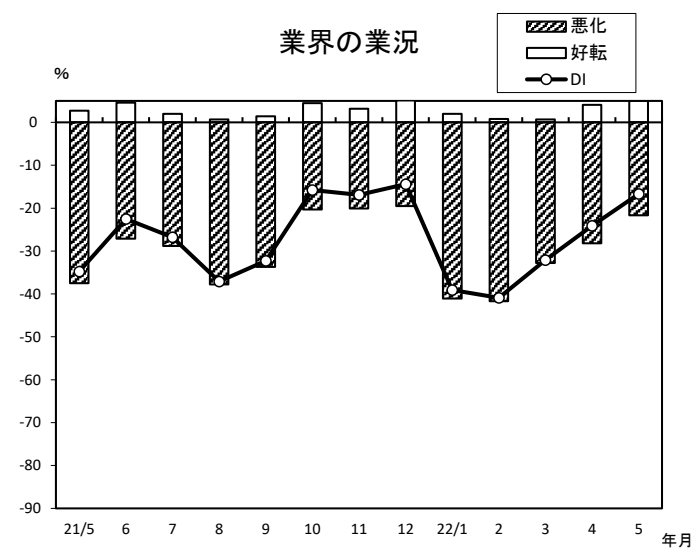
年/月	増加	減少	DI
21/5	7.3	-40.9	-33.6
6	9.5	-33.2	-23.7
7	9.5	-29.3	-19.8
8	9.5	-41.4	-31.9
9	9.5	-38.2	-28.7
10	9.5	-22.2	-12.7
11	9.5	-20.6	-11.1
12	9.5	-20.9	-11.4
22/1	9.5	-41.6	-32.1
2	9.5	-45.4	-35.9
3	9.5	-34.0	-24.5
4	9.5	-30.3	-20.8
5	9.5	-25.7	-16.2



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.0	-32.3	-30.3
6	2.7	-22.8	-20.1
7	1.0	-22.5	-21.5
8	0.7	-28.7	-28.0
9	1.4	-25.0	-23.6
10	2.6	-21.3	-18.7
11	1.2	-18.3	-17.1
12	3.1	-17.2	-14.1
22/1	1.5	-32.4	-30.9
2	0.6	-29.7	-29.1
3	1.0	-25.5	-24.5
4	1.9	-21.7	-19.8
5	2.0	-18.8	-16.8



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.9	-34.2	-31.3
6	3.8	-26.1	-22.3
7	2.7	-26.4	-23.7
8	1.4	-34.6	-33.2
9	1.9	-30.0	-28.1
10	3.1	-25.0	-21.9
11	2.6	-27.4	-24.8
12	6.1	-24.1	-18.0
22/1	1.7	-35.3	-33.6
2	1.6	-38.1	-36.5
3	1.0	-29.1	-28.1
4	1.9	-31.4	-29.5
5	4.5	-29.6	-25.1



年/月	好転	悪化	DI
21/5	2.7	-37.5	-34.8
6	4.6	-27.1	-22.5
7	2.0	-28.8	-26.8
8	0.7	-37.8	-37.1
9	1.4	-33.7	-32.3
10	4.5	-20.3	-15.8
11	3.2	-20.1	-16.9
12	5.1	-19.5	-14.4
22/1	2.0	-41.1	-39.1
2	0.8	-41.7	-40.9
3	0.7	-32.8	-32.1
4	4.1	-28.2	-24.1
5	5.0	-21.7	-16.7

小規模企業景気動向調査(5月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

今年のゴールデンウィークは、ここまでコロナの影響を大きく受けていた、食品製造、販売、旅行業等が制限を受けることがなく久しぶりの活況となった。ゴールデンウィーク後に懸念されていたコロナの再燃も想定されていたほど発生しておらず、明るい見通しである。一方で、ロシア・ウクライナ問題にかかる原料や燃料の高騰は機械系、半導体などの製造業、建設業に引き続き影響を及ぼしており早期の解決が望まれる。

(中央市商工会)

小売と工業関連で意見が大きく分かれました。小売では観光客が戻ったことによって売り上げが良くなったとの意見が工業関連では原材料費の影響を強く受けているとの返事がありました。

(恵那市恵南商工会)

国民がコロナ慣れしている感がある。依然よりコロナだから景気が悪いという話はあまり聞かなくなった。前向きな事業者はピンチはチャンスと捉え、新分野進出や新たな事業展開を進め、積極的に行動している。

(備前東商工会 吉永支所)

建設業者が農業を始めるなど多角化している企業もある。このままではいけないので、何かしようというやる気のある事業者が増える環境になるとよいと思う。

(伊佐市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

前年に関しては、飲食業の時短要請等により経済活動が大きく停滞していたが、本年度は大型連休を含めて、ほぼすべての業種で業況は好転。ただ、製造業等に関しては、サプライチェーンの毀損が顕著に出ている。

(玖珠町商工会)

コロナ禍における石油の高騰に加え、ウクライナ情勢により全体的な経費の移送コストがかかっている事業者が増えている。売上が変わらずとも利益率が下がるため、特に小規模事業者には厳しい状況となっている。

(青森市浪岡商工会)

前年度より景気は回復してきているが、ウクライナ紛争や新型コロナにより、材料の価格や仕入れ価格の高騰などで資金繰りに苦労している。

(白神八峰商工会)

<機械・金属> 以前より、世界的な原料価格の高騰と物不足により、調達リードタイムが長期化していたが、3月末からの上海ロックダウンによって、サプライチェーンに深刻なダメージを受けた企業が複数社ある。辛うじて国内企業より代替材料を確保できたが、長期的リスクを考慮し、生産拠点の早期国内回帰が強く望まれる。

(射水市商工会)

新型コロナウイルス感染症による緩和策も出てきているが、コロナ前の状況には程遠い状態である。特に小規模零細企業の製造業は、円安メリットの恩恵を感じることはできていない状況であり、何らかの政策による対応も必要と思われる。

(磐田市商工会)

燃料高騰と特に海外から仕入れを行っている事業者は、かなり仕入れ経費の負担があがって採算が厳しくなっている。また、春先からの値上げラッシュにより、今後は消費者の動向にも注視していかなければならない。

(糸島市商工会)

当該地区の全体的な景気については、飲食店を中心に先般からの新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており景気が停滞している。また、昨年のウッドショックによる建設関連事業者の仕入れ値高騰やウクライナ情勢の影響により原材料費の高騰、原油高が追い打ちをかけ今後様々な業種に影響を及ぼすことが懸念される。一部の事業者は、置かれている環境を冷静に把握するとともに自社の経営を見直し自社の強みを生かした新たな取り組みを開始するために、国・県の補助金等を活用し新たな事業展開を計画している。前向きな投資が少しずつ出てきているが、どの業種もまだまだ厳しい状況が続いていくと思料する。

(佐賀市南商工会)

コロナによる影響は緩和されつつある業種もあるが、一方で原油価格高騰による仕入・経費の増加については依然好転の様子が見られない。加えてコロナ融資の返済が始まる事業者も出てきており、条件変更などで対応することで一時的にしのいでいる様子だが、コロナ禍・仕入れ価格高騰の両面が長期化することによる更なる資金繰り悪化が懸念される。

(神崎市商工会)

コロナ感染症はもちろんのことだが、ウクライナ情勢による原油価格の高騰や仕入れ価格の上昇により、今後の資金繰りが心配な事業者が増えているように伺える。併せて、価格転嫁をしなければ経営の継続は困難であることは否めない。国や県には小規模事業者への支援を引き続きおこなっていただきたい。

(中城村商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

新商品の輸出が増えているとの声あり。

(佐土原町商工会)

新型コロナウイルス感染症は依然として感染者が横ばいで推移しているものの、観光客をはじめとする入込客は増加しており、これに併せて食料品製造業などは、お土産品等の需要増加で売上が伸びている。

(あまみ商工会)

<食料品>感染者数の減少により、飲食店や宿泊業の景況感が上向いており、オンラインでの商談等が活発に行われている影響もあって、売上は回復傾向にある。一方で、原材料等の高騰が著しく、多くの企業が価格転嫁(値上げ)のタイミングを探っている状態である。<繊維工業>地域の特色だと思いが、スポーツ用品製造やユニフォーム等への刺しゅうに関わる企業が好調である。また、労働力を外国人材で賄っている事業所が多い中、今年4月以降、入国が順次再開されたことも追い風となっている。

(射水市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

食料品関連の事業者は、全体的に持ち直しの動きが見られるものの、まだまだ安定しない状況である。仕入れ価格は上昇がとまらず、価格転嫁が追いつかない。持ち直しの傾向から仕入れ品が多くなるのに対して、収入が前月からのもになるため支出と収入のバランスが悪化している。繊維工業関連の事業者は、7月までの仕事は確保できている。仕入価格、配送費用の増加に伴う価格転嫁が今まではできなかったが、交渉し価格転嫁できた。今後は採算が回復していくものと考えている。機械・金属関連の事業者は、売上は回復傾向にあるが、材料単価の上昇が続いており、採算は悪化している。

(かづの商工会)

鑄造業において原材料の高騰により利益を圧迫してきており、取引先にお願ひし、4月に値上げをしたが7月ごろを目途に再度値上げを検討している。酒類製造業において、原材料の高騰のほか酒瓶の高騰により、いつ値上げをするべきか検討している。部品にニッケル、銅を使用する製造業ではニッケルは入手困難な状況で、銅についてはスクラップからの再利用に切り替えた。電子部品製造業では国内部品では汎用性が無いため、海外製に頼るしかなく、円安の影響もあり利益を圧迫している。鉄骨製造業では新電力の撤退により電力会社を切り替えたため電気料が高額となり重荷となっている。

(前沢商工会)

食料品製造関連では食材の仕入れ単価が上昇。また、商品を包装する紙が入荷出来ない状況(納期に20日程度)機械金属製造業では相変わらず鉄等の仕入れ価格が高止まり。受注競争が激しい。

(坂井市商工会)

世界的な半導体不足により生産調整が必要となっており、臨時休業などの対応により不安定な経営状態である。また、従業員賃金の単価を見直しアップさせていることから、経営状態は厳しい状況である。

(磐田市商工会)

食料品…不漁、為替、海外工場の休業などで魚原料高騰および小麦、油なども高騰で価格転嫁できない状況。繊維工業…原材料の生地類が9月から7~8%値上がりと言われている。ただし綿、ポリエステルは変動的。ただ、このご時世なので取引先に値上げを言っても素直に聞き入れてくれている。

(野洲市商工会)

食料品製造業では、動きが出始めているが原材料の高騰により採算は悪化の状態が続いている。機械金属製造業は取引先の内製化等外注費を抑える傾向にあり下請業者は悪化の状態が続いている。

(丹波市商工会)

食料品関係の製造業は、原材料の高騰で引き続き厳しい状況が続いている。繊維工業関係の製造業は、人手が足りず、受注の納品が遅れている。例年なら5月が夏物の受注ピークであるが、今年は半分程度しかあげられていない。単価が合わないため9月頃から取引先に対し値上げの交渉も行いたい機械・金属関係の製造業は、仕入単価の上昇が続いている。

(みまさか商工会 勝央支所)

木材を扱う事業者は、昨年のウッドショックにより木材の仕入れが困難になったことや仕入れることが出来ても木材の仕入れ値が従来の3倍近くなる等厳しい状況が続いている。あわせて、今般のウクライナ情勢の影響により原材料費の高騰及び原油高により収益性の悪化が見受けられる。一部の製造業者は、置かれている環境を冷静に把握するとともに自社の経営を見直すきっかけにもなっており国、県の補助金等を活用し新たな事業展開を計画している。

(佐賀市南商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

引き続き仕事の引き合いが多く、切れ目なく仕事があり比較的好調である。ただし、仕入単価や燃料価格が上昇しているため、売上の増加に比べて利益の増加幅は少ない。

(妙高高原商工会)

今月から公共事業の入札が始まり業況は回復基調。また、NECSCO東日本からの高速道路改修工事に受注増など全体的な業況は堅調に推移。このことにより、ガソリンスタンド、飲食店など地域経済にも波及が期待できる。

(大月市商工会)

民間工事、公共工事とも昨年並みに出ている。

(姫路市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

建築業では、木材の高騰、物価上昇を受けて住宅新築を躊躇する消費者心理により新築よりもリフォーム工事を希望する消費者が増加している感がある。

(外ヶ浜町商工会)

ロシアによるウクライナ侵攻により建設資材の単価も高騰している。また、建設部材の入荷も相変わらず遅れており、改善傾向が見られないことから、当面継続する見通しである。これらの遅れから工期も延びてしまい、その分売上入金も先延ばしとなり、今後の資金繰りにも陰りが見えてくるものと思われる。

(会津美里町商工会)

中国のゼロコロナ政策の影響等により原材料等が入荷せず、入荷しても価格が高騰しており販売価格も上げざるを得ない。その結果、受注機会を逸することが多くなっている。

(寺泊町商工会)

建設業については、木材などの不足や価格の上昇に加え、塗料などの消耗品の価格上昇などが採算を圧迫している状況になっている。

(宝達志水町商工会)

エアコンなど電化製品等が品薄のために進まない工事があるとのこと。

(海津市商工会)

設備関係の建設業では、ボイラー、トイレ関係の資材は現在数か月待ち。故障をしても、応急修理でなんとかしのぐしかない状況である。

(南木曾商工会)

仕事は継続的にあるが、従業員の確保が難しい状況である。材料費上昇が止まらない(2割近く高騰)

(瀬戸内市商工会)

住宅設備関連の事業者は、資材の供給不足や設備機器の納期遅れで工期が長期化し、業況が悪化している。一方で、その他の建設業関連の事業者は、引き合いも多く、受注獲得につながっている。しかし、ロシア・ウクライナ情勢の行方や原油・原材料価格の高止まりなどの懸念材料も多く、見通しは不透明。

(米子日吉津商工会)

土木工事に関しては引合いも多く好調。建築工事に関しても前年に比べ売上増加。仕入れ単価に関しては各種材料が値上げしているが現状、施工価格に転嫁できており利益率はあまり変動なし。しかし、顧客がどこまで値上げに対応してくれるかは不透明。

(日田地区商工会 大山支所)

工事種別によって変動はあるが、全般的に物流の流れが鈍化しており、資材の調達に遅れが生じている。ある程度規模の大きい工務店等では、在庫を保有していることから、リードタイムの遅れを吸収できているが、小規模な事業所では在庫を抱えるわけにもいかないため、現場での作業工程に遅れが生じている。

(諫早市商工会 西部支所)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

衣料品、食料品の販売はゴールデンウィークを皮切りに5月は好調であった。懸念されていたコロナウイルスの増加も大きくは発生しておらず、見通しては悪くない状況である。

(中央市商工会)

外出自粛に対する気運もやや薄らいできており、来店数も回復してきつつある。

(岡山北商工会)

衣料品、耐久財に関しては、大型連休の人流増等により、昨年同月比で大きく売上高増となった。食料品小売業についても、売上増の状態にあるものの、引き続き仕入単価の高騰も続いている。

(玖珠町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

衣料品関連の事業者は、地域のイベントが未だ再開されないものもあるため、人通りが少なく売上が20%ほど減少している。食料品小売業は、あらゆる資材が仕入れの都度値上がりしているが転嫁しきれず採算が悪化した。6月を年度初めとする肥料業界は6月さらに数十%の値上げを決定している。過去最安値となっている精米は4月以降外食消費が増加したが、ランチ営業の不振・取り止め、平日の外食控え等、コロナ前の状態とは程遠い。耐久消費財関連の事業者は、問屋からの情報として中国での生産の遅れによる欠品が相次いでいるとのことで、仕入が一部滞っている。

(かづの商工会)

衣料品関連の事業者は、コロナ禍によりインターネットコマースでの購入が急速に発展したこともあり、経済活動が当時に戻りつつある中にも店舗に来店されるお客様の数は戻っていない。食料品関連の事業者は、現在も多くの商品が値上がりを見せる中、6月から更に商品の値上げが行われる事がメディアの発信で周知されたためか、駆け込みで賞味期限の長いものを買求める姿が目立った。耐久消費財関連の事業者は、新車・中古車の調達難が継続。特に中古車については仕入価格が高騰している。納期遅延もあり、対応に苦慮している。

(北栄町商工会)

衣料品や食料品小売業について、材料の値上げが採算悪化に影響しており、自社の預金などを取り崩して営業を実施しているため資金繰りも悪化してしまっている。家電などの耐久消費財の小売業については、海外からの仕入が大半で、現状仕入難が発生し販売が芳しくない一方で、時期的な電気工事などの需要があり売上が伸びている。とはいえ、個人の来店客数などに影響されやすい小売業は今後資金繰りといった財政面で懸念がある。

(鹿島商工会)

食料品小売業は円安等の影響を受け、仕入価格が高騰した結果、販売価格に転嫁せざるを得ないが、消費者の買い控えやスーパーへの流出を懸念してすべて転嫁できず、利益減少となっている。衣料品小売業は大きな変化はないが依然、厳しい状況に置かれている。

(小須戸商工会)

小売関連の事業者は、仕入価格の上昇やもの不足が原因となり、値上げや低品質商品を購入せざる得ない状況になって、顧客満足度の低下が懸念されています。

(宝達志水町商工会)

日用品や食料品を扱う地域の小規模な事業者は、コロナウイルスの影響により来店客数の減少を招いていることやウクライナ情勢の影響により今まで仕入れていた商品を仕入れることが出来ないことや仕入れ値高騰により収益性の悪化を招いている。地域の大きい小売店は、コロナウイルスの影響により地域の方が多く来店されるようになり売上は増加傾向にあるが、ウクライナ情勢の影響により仕入れ値高騰のため収益性の悪化を招いている。耐久消費財は、消費者の購買意欲が低下していることや照会が来た際に要望されている物を仕入れることができない状態で車両については最短でも半年待ちの状況もあり売上確保が厳しい状況となっている。

(佐賀市南商工会)

仕入れ価格は上昇、菓子製造小売業者は、原材料価格高騰により、販売価格を上げたいが、思うように転嫁できない。商品サイズ等の変更、新商品開発などで対応。

(鶴の町商工会 野田支所)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

規制の無いGWにより帰省客や観光客の姿もここ2年に比べ多くみられた。感染者数も高止まりの傾向ではあるが、大幅な上昇は見られず、おでかけキャンペーンも再開されたことで期待値は上がっている。

(中泊町商工会)

旅館・宿泊所は、ゴールデンウィークも有ったためほぼ満室といったところも多く賑わっていた。理美容業については、外に出る機会の増加により徐々に客数も増えていくと思われる。

(那須塩原市商工会)

洗濯業について、例年と比べ、冬季から春にかけて衣替え需要が後ろへずれ込む結果となった。しかし、売上は回復の兆しが見え、一定程度の利益を確保することができた。

(畑野商工会)

理美容業では入社式や入学式など年度始めのイベントに向けて、利用する消費者が増加傾向にある一方で、オミクロン株の感染拡大によって、学級閉鎖なども起きており、学生などをターゲットとする理美容業では売上が落ち込んでいる様子も見受けられた。アフターコロナに向けて、経済活動の再開に動き始めていることから、業界全体としては盛況であるように感じた。

(瑞穂市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

新型コロナウイルス感染症の影響は依然として続いており、宿泊数は戻っていない。

(丸森町商工会)

旅館関連の事業者は、会食の機会が少しずつ増えているが、企業単位の飲食はまだこれからという感じを受ける。光熱費、材料費の高騰は採算に大きく影響するが、できる限り価格に転嫁するよう努めている。洗濯関連の事業者は、原油高の影響を受け、引き続き燃料費の上昇している。理美容業の事業者は、顧客の来店頻度が下がっている中で、仕入れ単価が上がり、引続き厳しい状況となっている。

(かづの商工会)

旅館業はGWの利用率が良好であった。今のところ、コロナ前までとはいかないが、予約状況は好転している。個人旅行が多く団体が少ないため、大幅な回復とまではいかない。洗濯業は、コスト高止まりだが価格転嫁がしきれていない。売上自体は回復傾向にあるが、利益はでていない。

(富山市八尾山田商工会)

旅館業は昨年度の同時期は緊急事態宣言下であったため壊滅的であったが、今年度5月期はコロナウイルス感染症は多少落ち着いていた状況下、岐阜県の県民割といったクーポンも相まってコロナ前の50%程度の売上があった。理美容業界は、コロナウイルス感染症の影響で調髪サイクルの長期化や安価チェーンの台頭により売上減少が続いている。

(高山北商工会)

人出は戻りつつあるものの、完全には戻ってこず特に夜は少ない。また、借入金の返済もはじまり、燃料費の高騰、原材料費等の値上げで厳しい。

(養老町商工会)

旅館・宿泊関連のサービス業は、GWの個人客は昨年と比較すると増え、前月と比較しても明るい兆しはあった。ただ、コロナ前と比較して、回復は100%とはなっていない。洗濯業関連のサービス業は、5月に入り、冠婚葬祭などによる需要が少し増えつつある。燃料、洗剤、ハンガー、ビニールが値上がり。パートも時短で対応している理美容業関連のサービス業は、町のプレミアム商品券が発行されたが、利用は少ない。資金繰りは事業復活支援金を取り崩しながら対応している。

(みまさか商工会 勝央支所)

コロナ渦で、訪日観光客が入国出来ない中、厳しい状況に変わりはない。そんな中、全体的に価格上昇があり、更なる経営悪化が生じている。

(与那原町商工会)